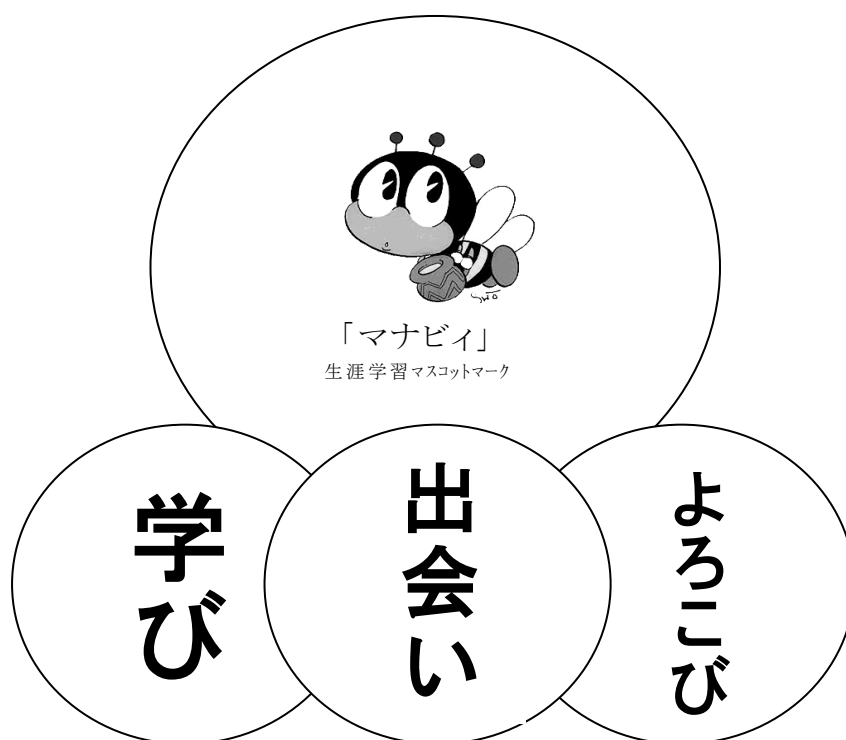


令和 6 年度

事業報告書



石川県立生涯学習センター

ISHIKAWA PREFECTURAL LIFELONG LEARNING CENTER

は じ め に

石川県では、石川県成長戦略の施策として「人生100年時代を見据えた、生涯にわたり学び活躍できる環境の整備」を掲げ、多様な学習ニーズに応える学びの機会の充実や、各地域における優れた取組の普及啓発の促進により、県民一人一人が生涯にわたり学び、自分の成長を実感できるよう、生涯学習を推進しています。

石川県立生涯学習センターにおいては、「いつでも」「どこでも」をキャッチフレーズとし、県内にお住まい、又は、お勤めの方であればどなたでも受講できる、「石川県民大学校」を開校し、市町、大学、民間教育機関などと連携して、県内全域において、教養・文化・生活・健康等、様々な分野における学習機会を提供してきました。平成2年の開校以来、修了された方は延べ2万人を超え、多くの方々が、その学習成果を生かし、地域の生涯学習やボランティア活動の場でご活躍されています。

令和6年に、能登半島地震、奥能登豪雨と、2度にわたる未曾有の大災害が起き、甚大な被害がもたらされました。そのような状況下で、令和6年度の「石川県民大学校」は、例年実施していた多くの講座を休講することになりました。

本校で実施した講座は、ほぼ例年通りでしたが、奥能登の生涯学習の拠点となる能登校の講座を運営する能登分室は、復旧・復興の拠点として様々な団体や機関に活用されているため休館となり、能登校での講座のほとんどが休講となりました。連携機関が実施する講座に関しても、度重なる災害の影響を受けた機関の講座が休講となりました。

この様に多くの講座が休講となりましたが、能登分室での「能登文化講座」「能登の歴史探訪講座」の2講座については、それぞれ本多の森庁舎、空港ターミナルの会議室に会場変更し、さらに「能登文化講座」では、来館のかなわない方のために、オンライン配信を実施することにより開講することができました。

また、文部科学省の支援を受け、被災地の小中学生対象に、新たな講座として、「オーケストラアンサンブル金沢による音楽鑑賞教室」や「いしかわの資源を生かした工作教室」、「マジック体験教室」を実施することもできました。

この5講座には、能登にお住まいの方に受講していただくことができました。復旧から復興へと歩みを進める能登の生涯学習推進のための一助となったとすれば幸いです。

能登校については新年度に入っても休館が続く見込みであり、令和7年度の講座及び貸館事業は実施が見通せない状況ですが、創意工夫しながら職員一丸となって全県下での「人生100年時代の生涯学習社会」の実現に寄与してまいりたいと考えています。今後とも一層のご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、当センターの事業実施・運営にあたり、ご尽力いただきました関係の皆様方に心から感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。

令和7年5月

石川県立生涯学習センター
館長 岩木 智子

目 次

I 生涯学習センター

1 石川県民大学校	
(1) 石川県民大学校のあゆみ	3
(2) 石川県民大学校の受講(入校)状況	4
(3) 石川県民大学校の推移	5
2 講座事業	
(1) 令和5年度修了証書交付式、ポスター等図案募集表彰式及び記念講演会	7
(2) 石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座	8
(3) 石川県民大学校大学院「石川の博士」論文発表会	10
(4) ふるさとモット学び塾 ふるさとふれあい講座 ①金沢会場	11
〃 ②能登会場・③加賀会場	12
(5) ふるさとモット学び塾 ふるさとふれあい現地講座	13
(6) ふるさとモット学び塾 ふるさと発見出前講座 ①小・中学校	14
〃 ②公民館	15
(7) ふるさとモット学び塾 子どもふるさと博士講座	16
(8) あすなる悠々塾	17
(9) あすなる悠々塾講師養成研修	19
(10) 人権講演会	20
(11) 世界理解講座	21
(12) ファミリー・カレッジin本多の森	22
(13) 兼六ビデオ講座	23
(14) 本多の森シネマアーカイブ	25
(15) 本多の森シアター(夏の子ども映画会・秋の映画会)	26
3 学習情報・教材提供	
(1) 石川県生涯学習情報提供システム(あいあいネット)	27
(2) まなびすどろーム	28
(3) 視聴覚ライブラリー	28
(4) 生涯学習センターだより(館報)	29
(5) 県民企画展示(マナビィコーナー)	30
4 指導者養成・研修	
(1) 公民館職員基礎研修(公民館長基礎研修・公民館主事基礎研修)	31
(2) 公民館職員専門研修(公民館長専門研修・公民館主事専門研修)	32
(3) ファシリテーター養成講座	33
(4) 市町生涯学習担当者基礎研修	34
(5) 16ミリ発声映写機操作技術認定講習会	35
5 マナビィフェアin本多の森2024	36
6 他の機関・団体との主催・共催事業	
(1) 生涯学習・社会教育担当者等研修	37
(2) 教育事務所管内別生涯学習研修会	38
(3) 県民映像カレッジ	39
(4) ICTセミナー	40
(5) いしかわ映像作品コンテスト	41
(6) 視聴覚いしかわ(会報)	42

II 生涯学習センター能登分室

1 講座事業	
(1) 能登文化講座	43
(2) 能登の歴史探訪講座	43
(3) オーケストラ・アンサンブル金沢による音楽鑑賞教室	44
(4) 石川の資源を生かした工作教室	44
(5) マジック体験教室	45
2 他の機関・団体との共催講座	
(1) サンドブラスト体験教室	46
3 他の機関・団体との共催事業	
(1) のと里山空港書道展	47
4 令和6年能登半島地震後の能登分室所管会議室の臨時使用状況	48

I 生涯学習センター

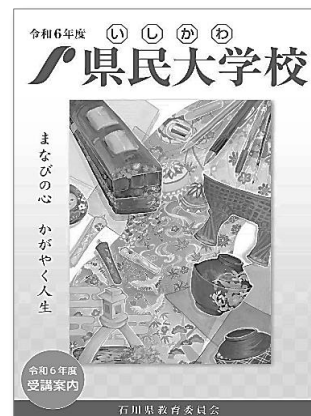
1 石川県民大学校

(1) 石川県民大学校のあゆみ

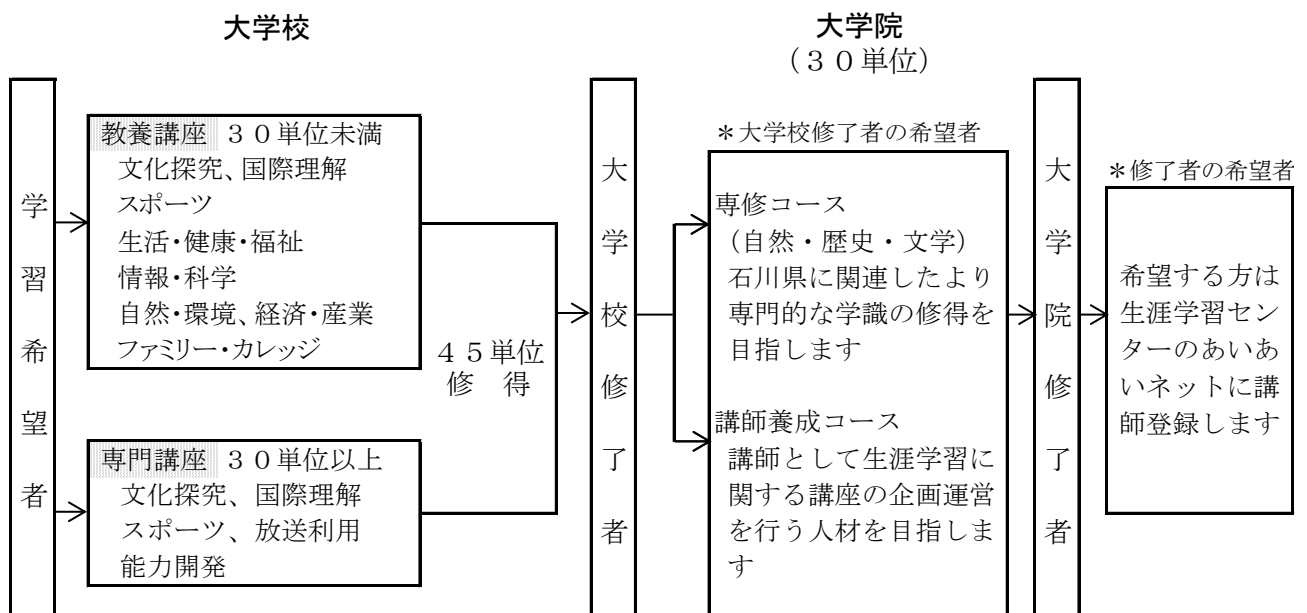
石川県民大学校は平成2年6月に開校し、大学院は平成11年6月に開校。

○講座数の推移

年度	講座数 ()内専門・大学院講座数	年度	講座数 ()内専門・大学院講座数
平成 2年	223 (70)	平成24年	1,054 (31・4)
平成 3年	274 (78)	平成25年	1,084 (30・4)
平成 4年	290 (89)	平成26年	1,132 (29・4)
平成 5年	313 (98)	平成27年	1,186 (28・4)
平成 6年	321 (103)	平成28年	1,212 (30・4)
平成 7年	331 (111)	平成29年	1,178 (32・4)
平成 8年	325 (107)	平成30年	1,206 (32・4)
平成 9年	332 (117)	令和 元年	1,232 (32・4)
平成10年	330 (126)	令和 2年	802 (22・4)
平成11年	485 (121・4)	令和 3年	837 (26・4)
平成12年	498 (130・4)	令和 4年	1,012 (26・4)
平成13年	504 (114・4)	令和 5年	941 (29・4)
平成14年	582 (114・4)	令和 6年	824 (25・4)
平成15年	684 (110・4)		
平成16年	739 (88・4)		
平成17年	815 (54・4)		
平成18年	856 (46・4)		
平成19年	904 (45・4)		
平成20年	897 (39・4)		
平成21年	938 (40・4)		
平成22年	944 (37・4)		
平成23年	1,021 (34・4)		



○石川県民大学校入学から修了までの流れ



(2) 石川県民大学校の受講(入校)状況(令和6年度)

表 1 講座のコース別開設数及び受講者(入校者)数

講座	コース名	講座数	受講者(入校者)数
教養講座		795	6,258
専門講座		25	430
大学院	専修自然・歴史・文学	3	16
	講師養成	1	2
合 計		824	6,706

表2 地区別受講者(入校者)割合(%)

地区名	受講者(入校者)割合
加賀市	1.8%
小松市・能美市・能美郡	6.9%
白山市・野々市市	10.5%
金沢市	61.4%
かほく市・河北郡	4.9%
羽咋市・羽咋郡	3.1%
七尾市・鹿島郡	0.8%
輪島市・鳳珠郡	2.3%
珠洲市	0.7%
不明・県外	7.6%
合 計	100%

表 3 年代別受講者(入校者)割合(%)

年 齢	割合
19歳以下	15.0%
20歳～29歳	0.6%
30歳～39歳	0.9%
40歳～49歳	3.0%
50歳～59歳	6.0%
60歳～69歳	14.3%
70歳～79歳	32.5%
80歳以上	11.5%
不 明	16.2%
合 計	100%

(3) 石川県民大学校の推移

表1 講座数の推移

(単位:講座)

年 度		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
大 学 校	教 養 講 座 計	1,170	1,196	776	807	982	908	795
	専 門 講 座 計	32	32	22	26	26	29	25
	文化探究コース	9	9	6	8	8	8	8
	国際理解コース	12	12	8	10	10	10	8
	スポーツ・生活コース	5	5	5	5	5	5	5
	産業・情報コース	0	0	0	0	0	0	0
	能力開発コース	3	3	0	0	0	3	1
	放送利用コース	3	3	3	3	3	3	3
	大 学 校 計	1,202	1,228	798	833	1,008	937	820
大 学 院	専修コース	3	3	3	3	3	3	3
	講師養成コース	1	1	1	1	1	1	1
	石川の博士養成講座 計	4	4	4	4	4	4	4
合 計		1,206	1,232	802	837	1,012	941	824

表2 実施機関数及び講座数

(単位:機関・講座)

実 施 機 関	年 度		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	講座数								
国 立 機 関	機 関 数		3	3	3	3	3	3	3
	講 座 数		44	59	20	36	34	37	46
県 機 関 計	機 関 数		41	39	41	39	38	37	31
	講 座 数		499	483	361	339	397	375	292
	知事部局等	機 関 数	24	23	25	25	22	21	20
		講 座 数	256	219	135	124	148	122	95
	県 立 学 校	機 関 数	6	5	5	3	6	6	3
		講 座 数	6	6	3	0	6	5	2
	県 教 委	機 関 数	11	11	11	11	10	10	8
		講 座 数	237	258	223	215	243	248	195
市 町 村 教 委	機 関 数		31	34	35	35	33	34	31
	講 座 数		103	130	94	93	104	81	68
各 種 法 人	機 関 数		49	50	52	47	47	47	46
	講 座 数		453	454	295	325	393	362	335
各 種 団 体	機 関 数		14	13	14	13	13	12	13
	講 座 数		107	106	32	44	84	86	83
合 計	機 関 数		138	139	145	137	134	133	124
	講 座 数		1,206	1,232	802	837	1,012	941	824

表3 受講者(入校者)数の推移

(単位 : 人)

年 度		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計
大 学 校	教養講座 計	10,355	10,793	5,151	5,433	6,094	8,500	6,258	171,771
	専門講座 計	575	628	462	53	338	430	430	46,670
	文化探究コース	284	312	220	46	183	174	261	14,383
	国際理解コース	134	147	116	0	139	116	77	9,749
	スポーツ・生活コース	0	15	15	0	15	15	15	8,242
	産業・情報コース	0	0	0	0	0	0	0	4,482
	能力開発コース	157	142	106	0	0	125	76	8,296
	放送利用コース	0	12	5	7	1	0	1	1,518
大 学 校 計		10,930	11,421	5,613	5,486	6,432	8,930	6,688	218,441
大 学 院	専修コース	14	21	30	15	11	12	16	1,832
	講師養成コース	6	7	6	1	5	5	2	427
	石川の博士養成講座 計	20	28	36	16	16	17	18	2,259
合 計		10,950	11,449	5,649	5,502	6,448	8,947	6,706	220,700

※大学校の合計は平成2年度からの累計、大学院の合計は平成11年度からの累計

表4 修了者数の推移

(令和7年3月末現在)

(単位 : 人)

年 度		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計
大 学 校	教養講座 計	293	291	165	140	186	283	224	5,270
	専門講座 計	496	482	267	26	98	385	388	15,352
	(コース重複)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(592)
	文化探究コース	239	242	72	24	0	155	236	5,959
	国際理解コース	83	83	73	0	82	90	60	2,708
	スポーツ・生活コース	0	15	15	0	15	15	15	1,891
	産業・情報コース	0	0	0	0	0	0	0	641
	能力開発コース	174	142	106	0	0	125	76	4,693
	放送利用コース	0	0	1	2	1	0	1	52
大 学 校 計		789	773	432	166	284	668	612	20,622
大 学 院	専修コース	12	13	10	13	9	10	11	612
	講師養成コース	5	5	4	1	3	3	2	195
	石川の博士養成講座 計	17	18	14	14	12	13	13	807
合 計		806	791	446	180	296	681	625	21,429

※大学校の合計は平成2年度からの累計、大学院の合計は平成11年度からの累計

表5 年代別修了生数(令和6年度修了生の内訳)

(単位 : 人)

年 代	19歳 以下	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80歳 以上	不明	計
大学校	21	6	3	14	34	106	230	81	117	612
大学院						3	8	2		13
人数(人)計	21	6	3	14	34	109	238	83	117	625
割合(%)	3.4	1.0	0.5	2.2	5.4	17.4	38.1	13.3	18.7	100

2 講座事業

(1) 令和5年度石川県民大学校・大学院修了証書交付式及び記念講演、ポスター等図案募集表彰式

趣 旨

石川県民大学校・大学院修了生の努力を讃え、修了証書を交付するとともに、生涯学習に対する県民の意識を高め、学習意欲を喚起する機会とする。併せて、石川県民大学校ポスター等図案募集の入選者（最優秀賞、優秀賞）を表彰する。

対 象

令和5年度県民大学校・大学院修了生681名(大学校668名・大学院13名)、
令和6年度石川県民大学校ポスター等の図案募集表彰者3名、一般

会 場

石川県立生涯学習センター第2会議室

期 日

令和6年5月18日（土） 13：30～15：40

日 程

13:30～14:00	修了証書交付式 令和5年度大学校・大学院修了生の各代表に、学長(馳浩石川県知事)から修了証書が交付された。
14:00～14:10	ポスター等図案募集表彰式 最優秀賞1名、優秀賞2名の表彰が行われた。
14:30～15:40	記念講演 「『枕草子』初段「春はあけぼの」を読む」と題して、同志社女子大学名誉教授 吉海直人氏を講師として記念講演が行われた。

事業の評価(成果・課題)

石川県民大学校・大学院修了生は84名(大学校76名・大学院8名)、ポスター等図案募集表彰者は3名が出席した。

石川県民大学校・大学院修了証書交付式には、県議会議長など来賓14名を含む計116名の出席があり、大学校・大学院の修了生各代表に、学長より修了証書が授与された。学長の式辞、来賓からの祝辞の後、大学校・大学院それぞれの修了生代表より挨拶があった。

併せて行われたポスター等図案募集表彰式では、最優秀賞と優秀賞の各受賞者に、学長より賞状と副賞が授与された。

この後行われた吉海直人同志社女子大学名誉教授の記念講演は、一般の参加者38名を含む125名が聴講した。NHK大河ドラマが平安時代を舞台にしていたためか受講者の関心も高く、「昔、学校で習った時と見方が変わった。」「古典からずいぶん離れている人間でも楽しく聴講できた。」「古典の奥深さを感じた。」「古典研究のロマンを感じることができた。」などの感想が寄せられ、大変好評であった。

(2) 石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座

趣 旨

石川県の自然・歴史・文学等に関する専門的な学識の修得を目指すとともに、自らが講師となり生涯学習に関する各種講座を企画運営するための知識・技能の習得を目指す。

対 象

石川県民大学校の修了生

期 間

令和6年5月18日(土)～令和7年1月25日(土)

会 場

石川県立生涯学習センター会議室

定 員

専 修コース 60名(自然・歴史・文学の3講座あわせて)
講師養成コース 15名

修 了

論文や講座企画書の作成を含む所定の単位修得が必要

日 程

	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加者数
1	5月18日(土) 14:50～15:50	石川県民大学校・大学院修了証書交付式・記念講演 『『枕草子』初段「春はあけぼの」を読む』	同志社女子大学名誉教授 吉海 直人	125人
2	5月28日(火) 13:30～15:30	専修コース文学① 「浜口国雄という詩人ー戦争という地獄ー」	金沢大学准教授 飯島 洋	8人
3	5月31日(金) 13:30～15:30	専修コース自然① 「自然の恵みとしての生態系サービスサイカチ及びセンダンを中心としてー」	NPO法人石川県自然史センター顧問 高木 政喜	7人
4	6月4日(火) 13:30～15:30	専修コース文学② 「加賀・能登の伝承」	金沢大学准教授 猪瀬 千尋	12人
5	6月7日(金) 13:30～15:30	専修コース自然② 「石川県のアカトンボの現状」	石川県立大学客員教授 上田 哲行	9人
6	6月10日(月) 13:30～15:30	専修コース歴史① 「前田土佐守家の学問・文化ー加賀藩上級武士の教養形成ー」	前田土佐守家資料館副館長(学芸員) 竹松 幸香	36人
7	6月14日(金) 13:30～15:30	専修コース自然③ 「世界農業遺産「能登の里山里海」ー能登半島地震からの復旧・復興に向けた課題」	金沢大学名誉教授 中村 浩二	10人
8	6月19日(水) 13:30～15:30	専修コース歴史② 「考古学で読む「倭人伝」ー弥生終末期の列島社会」	金沢大学古代文明・文化資源学研究所客員教授 小嶋 芳孝	36人
9	6月20日(木) 13:30～15:30	専修コース文学③ 『『夜叉ヶ池』(再)ーカタストロフィのむこうにー』	元金沢学院大学准教授 朝木 敏子	11人
10	6月26日(水) 13:30～15:30	専修コース歴史③ 「前田家国元奥向側室とその子女ー六代吉徳、十代重教、十一代治脩の場合ー」	石川郷土史学会副会長 加納 嘉津政	39人
11	6月28日(金) 13:30～15:30	専修コース 現地講座 石川県立図書館での学習	石川県立図書館閲覧サービス課司書 山本 京子	11人
12	7月1日(月) 13:30～15:30	専修コース 論文作成講座	金城短期大学部幼児教育学科講師 三浦 哲志	11人
13	7月24日(水) 13:30～15:30	講師養成コース③ 「チラシの魅せ方」	銅版画家・文筆家 三宅 エミ	2人
14	7月31日(水) 13:30～15:30	講師養成コース④ 「選ばれる講師になるために必要なプレゼンス(存在感)とは？」	(株)できる 代表取締役 杉本 嵩龍	2人
15	9月2日(月) 11:00～	専修コース文学 論文指導	金沢大学准教授 猪瀬 千尋	1人
16	9月2日(月) 13:30～	専修コース歴史 論文指導	石川郷土史学会副会長 加納 嘉津政	3人
17	9月2日(月) 15:30～	専修コース歴史 論文指導	金沢ふるさと偉人館学芸員 山岸 遼太郎	1人

	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加者数
18	9月3日(火) 11:00～	専修コース歴史 論文指導	石川県七尾美術館館長 北 春千代	1人
19	9月4日(水) 13:30～15:30	講師養成コース① 「プレゼンテーションの基本」	NPO法人キャリアネットワーク北陸理事長 岡野 絹枝	2人
20	9月10日(火) 14:30～	専修コース文学 論文指導	金沢大学准教授 飯島 洋	1人
21	9月10日(火) 16:00～	専修コース歴史 論文指導	金沢星稜大学特任教授 本康 宏史	1人
22	9月18日(水) 13:30～15:30	講師養成コース② 「スピーチプレゼンテーションの技法」	NPO法人キャリアネットワーク北陸理事長 岡野 絹枝	2人
23	9月19日(木) 13:30～	専修コース歴史 論文指導	金沢大学古代文明・文化資源学研究所客員教授 小嶋 芳孝	3人
24	10月9日(水) 13:30～	講師養成コース 講座企画書指導	NPO法人キャリアネットワーク北陸理事長 岡野 絹枝	2人
25	10月22日(火) 10:00～	専修コース歴史 論文指導	金沢星稜大学特任教授 本康 宏史	1人
26	10月23日(水) 11:00～	専修コース文学 論文指導	金沢大学准教授 猪瀬 千尋	1人
27	10月23日(水) 13:30～	専修コース文学 論文指導	金沢大学准教授 飯島 洋	1人
28	10月23日(水) 14:30～	専修コース歴史 論文指導	石川郷土史学会副会長 加納 嘉津政	3人
29	10月28日(月) 15:30～	専修コース歴史 論文指導	金沢ふるさと偉人館学芸員 山岸 遼太郎	1人
30	10月29日(火) 13:30～	専修コース歴史 論文指導	金沢大学古代文明・文化資源学研究所客員教授 小嶋 芳孝	3人
31	11月20日(水) 13:30～15:00	講師養成コース 企画講座発表	NPO法人キャリアネットワーク北陸理事長 岡野 絹枝	2人
32	1月25日(土) 13:30～15:50	「石川の博士」養成講座 論文発表会・記念講演 「ヤマト王権と加賀・能登の古墳」	公益財団法人石川県埋蔵文化財センター参事 伊藤 雅文	60人
合 計				408人

※1～10、32の講座は、一般の方に開放している。

事業の評価(成果・課題)

講師による懇切・丁寧な論文作成指導により、修了生(延べ13名)の研究成果を「石川の博士」論文集第26集としてまとめ、発行することができた。

大学院専修コースの基本講座は、開放講座として一般の方も受講が可能である。アンケートでは、「内容の理解度」が「十分」と「概ね」を合わせて96%、「全体としての満足度」が同97%であった。受講者からは「現在の内容をテーマにされていて良い。」(自然)、「作品を理解する背景の読み取りに大変興味をもった。」(文学)、「このような史実は聴くことがなかったので良かった。」(歴史)などの声があった。専門的な内容の講義であるが、どの分野の講義も高い理解度・満足度で好評であった。

近年、大学院の受講者はリピーターが多く、今年度の新規受講者は3名のみであった。新規受講者の開拓が課題であり、周知・広報をより一層工夫したい。

(3) 石川県民大学校大学院「石川の博士」論文発表会

趣 旨

石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座修了者の代表がその学習成果を発表するとともに、記念講演を通して県民大学校大学院の一層の充実を図る。

日 時

令和7年1月25日（土） 13：30～15：50

会 場

石川県立生涯学習センター第3会議室

対 象・参加者

令和6年度石川県民大学校大学院受講生及び一般 60名 （定員60名）

日 程

13:30～14:40	論文発表 〈専修コース〉 ①「加賀藩士「篠井七兵衛正房」外作事奉行の業績 ～愛本刎橋の架設技術は現在も高い評価～」 歴史分野代表 松林 健朗 ②「「おかげさまで」・五木寛之の『他力』『親鸞』を読んで」 文学分野代表 三隅 美和子 〈講師養成コース〉 「ファシリテーター体験講座【スキル編】」 代表 山崎 裕司
14:50～15:50	記念講演 「ヤマト王権と加賀・能登の古墳」 公益財団法人石川県埋蔵文化財センター参事 伊藤 雅文 氏

事業の評価(成果・課題)

大学院受講者13名の中から選ばれた代表3名の発表は、内容・話し方・資料提示などがよくまとまっていた。参加者の感想は「拝聴でき、大変勉強になった。」「学習意欲が素晴らしい。」など、好評であった。

記念講演では、公益財団法人石川県埋蔵文化財センター参事 伊藤雅文氏が、演題「ヤマト王権と加賀・能登の古墳」と題し、震災により被災した能登の古墳の話題を織り交ぜながら、古墳の動向や埋蔵状況、さらには地震が古墳に与える影響について、興味深い史料を交えながら具体的にわかりやすく説明された。

アンケート結果では、「理解ができた」100%、「興味が持てる」100%、「今後に活かせる内容」94%、「満足できた」96%と、どの項目も高い評価であった。記念講演について、参加者からは「研究者の視点のお話が面白かった。」「北陸の古墳、知らないことがたくさんあり、面白い内容であった。」「ご紹介いただいた古墳は実際に見学したものも多く、興味深く聴講させていただきました。」という感想があり好評であった。

関心の高い歴史分野での講演であり、また広報媒体も増やしたことから、参加人数も定員の60名となった。今後も、多くの方に参加していただけるよう広報の充実に努めたい。

(4) ふるさとモット学び塾 ふるさとふれあい講座

趣 旨

子供から大人まで県民一人一人がふるさとへの愛着と誇りを持ち、石川の文化や歴史、自然、産業等について知識を深めることができるよう、金沢・能登・加賀を会場としてふるさと学習の機会を提供する。

対 象

一般

日 程

① 金沢会場(石川県立生涯学習センター第1会議室)

	日 時	演 題	講 師	定員	参加人数
1	6月8日(土) 13:30～15:00	能登の揚浜式製塩法	株式会社Ante 代表取締役 中已出 理	150 人	61 人
2	7月 2日(火) 13:30～15:00	考古学からみた加賀立国	石川考古学研究会 副会長 河村 好光	150 人	93 人
3	7月19日(金) 13:30～15:00	ふるさとのことば再発見 ～石川を例に方言の現代的価値・ 役割を考える～	金沢大学 名誉教授 加藤 和夫	150 人	64 人
4	8月 5日(月) 13:30～15:00	金沢城の石垣と地震の関係を 考える	金沢城調査研究所 所長 富田 和氣夫	150 人	97 人
5	8月24日(土) 13:30～15:00	制約と進化 未来に繋ぐ持続可能な酒造り	株式会社吉田酒造店 代表取締役社長 吉田 泰之	150 人	52 人
6	9月 7日(土) 13:30～15:00	長谷川等伯 ～その多彩な画業と最強の人脈～	石川県七尾美術館 次長・学芸員 北原 洋子	150 人	81 人
7	9月28日(土) 13:30～15:00	加賀・能登における古典文学	金沢大学 准教授 猪瀬 千尋	150 人	49 人
8	10月 8日(火) 13:30～15:00	九谷焼の歴史的背景と色絵の系譜	能美市九谷焼美術館 館長 中矢 進一	150 人	64 人
9	10月22日(火) 13:30～15:00	能登地域でのトキ放鳥に向けて	石川県生活環境部自然環境課 課参事 野上 達也	150 人	31 人
10	11月11日(月) 13:30～15:00	「関ヶ原」合戦、加賀での戦いを探る ～金沢城の前田利長と小松城の 丹羽長重の戦い～	石川県近世史料編さん室 室長 木越 隆三	150 人	113 人
合 計				1500人	705 人

② 能登会場

	日 時	会場	演 題	講 師	定員	参加人数
1	6月29日(土) 13:30～15:00	コスモアイル羽咋	妙成寺の歴史と文化財	羽咋市歴史民俗資料館 学芸員 中野 知幸	40 人	35 人

③ 加賀会場

	日 時	会場	演 題	講 師	定員	参加人数
1	6月15日(土) 13:30～15:00	白山市鶴来 総合文化会館 クレイン	全国に広がる白山信仰	ほっと石川 観光マイスター 辻 貴弘	40 人	46 人

事業の評価(成果・課題)

新型コロナ5類完全移行で、定員数をほぼコロナ禍前並みに戻した。延期、中止もなく、すべての講座を予定どおり実施できた。

金沢会場(全10回)は、定員総数1,500名のところ、申込総数939名、受講者総数705名で、出席率(受講者数/申込者数)は75%であった。能登会場・加賀会場は、定員総数80名のところ、申込総数91名、受講者総数81名、出席率は89%であった。金沢会場、能登会場では申込数が定員数を上回る講座はなかった。加賀会場については、会場に余裕があったため、定員を超えても申込受付を継続し、定員を超える出席数(46名)であったが、実際の運営に全く支障はなかった。

受講者の年齢は、3会場ともほぼ60歳以上で、70歳代が約5～6割を占め、60歳未満の受講者は各講座数人レベルであり、金沢会場の3講座と能登会場では60歳未満受講者がいなかった。平日開催と土曜・休日開催との受講者の年齢層、受講者数の傾向には特に差はない。実施回による受講申込者数の差は、講師や講演テーマによるものと考えられる。講座開設の趣旨に則り、本県の文化、歴史、自然、産業の観点からテーマを設定しているが、文化や歴史(特に歴史)の人気は非常に高く、自然や産業(特に自然)については、あまり高くないことがうかがえる。受講者数(出席率)の差は、特に夏場においては、天気・気温(猛暑日)が大きく影響している様に見える。

受講者アンケート結果は、内容の理解(十分・概ね理解の合計:以下同様)95.2%、興味がもてる内容である94%、今後活かせる内容である86%、満足できた95%と高い評価を得て、大変好評であった。「石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができる」という本講座の趣旨を達成することができたと考えられる。

受講者数の減少が課題である。減少している要因として、受講者が常連化していることと、新規受講者が少ないことが考えられる。金沢会場での受講申込者(個人)数は278名で、うち新規受講申込者(個人)数は36名である。ほぼ60歳代以上で現役世代(60歳未満)はほとんどいない。一定数の常連の方(高齢の方)が、今年度の申し込みをしていないとみられ、休日(土曜日等)開催をしても、受講者増には結び付いていない。また、本講座が無料の教養講座であるためか、欠席率が平均35%、講座によっては43%近くになることもあり、受講意識の低下もみえる。

「ふるさとモット学び塾」は平成25年度の開設から12年となる。県民大学校・生涯学習センター主催講座として実施している本講座そのものの在り方について、今後検討を図りたい。

(5) ふるさとモット学び塾 ふるさとふれあい現地講座

趣 旨

県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう、石川の文化・歴史・自然・産業等をテーマとし、専門家とともに景勝地・史跡・偉人ゆかりの地等を巡回する講座を実施する。

対 象

一般

日 程

	日 時	演 題	講 師	定員	参加人数	手段
1	5月30日(木) 8:30～11:30	醤油の里「大野」を訪ねる	紺市醤油醸造所代表 紺田 健司	20人	17人	徒歩
2	6月12日(水) 8:00～17:00	加賀市の重伝建を訪ねる 東谷と橋立	金沢工業大学教授 山崎 幹泰	20人	25人	バス
3	9月13日(金) 8:00～17:00	高岡開祖・前田利長ゆかりの地を訪ねる	高岡市立博物館主幹 仁々竹 亮介	20人	26人	バス
4	10月6日(日) 9:30～12:30	金沢の文豪・泉鏡花ゆかりの地を訪ねる	泉鏡花記念館館長、金沢学院大学学長 秋山 稔	20人	20人	徒歩
5	10月18日(金) 9:00～12:00	金劔宮の門前町「鶴来」を歩く	白山手取川ジオパーク公認観光ガイド 磯部 雄三	20人	18人	徒歩
6	11月12日(火) 8:00～17:00	浄土真宗中興の祖・蓮如ゆかりの地を訪ねる	金沢大学元教授、日本中世史研究者 平瀬 直樹	20人	26人	バス
合 計				120人	132人	

事業の評価(成果・課題)

今年度は、能登半島地震の影響で、能登方面へのコースを設けることができなかった。また、予算の関係でバス利用のコースを1減の3回、徒歩で回るコースを1増の3回、計6回で実施した。

バスによる講座では、新たに加賀市東谷と橋立の重伝建を訪ねる講座、あわら市と加賀市に跨る蓮如ゆかりの地を訪ねる講座を設けた。徒歩による講座では、新たに白山市鶴来町を歩く講座を設けた。

募集定員は昨年度に引き続き20人としたが、コロナ禍の緩和を受けてバスは26人、徒歩は20人まで参加できるよう対応した。全体の応募者数は364人で昨年度に比べ32人の増加、受講者数は132人で昨年度の139人から7人減少した。申し込み倍率(応募者数/受講者数)は2.8倍で、昨年度の2.4倍から少しアップした。

アンケート結果では、「興味をもてる内容である」の項目で「十分あてはまる」と「おおむねあてはまる」を合計した割合が99%、「全体として満足できた」の項目では99%だった。専門家とともに史跡、偉人ゆかりの地をたずね、ふるさと石川の知識を深め魅力を再発見するという講座の目的は概ね達成できた。受講者からは「利長、利常の関係性や、高岡の鋳物産業などの経済の発展の歴史について知ることができた。」「蓮如さんの事を知ることができ大変勉強になりました。」などの感想が寄せられた。

次年度は、人気の高いバス利用のコースを増やすことを検討する。

(6) ふるさとモット学び塾 ふるさと発見出前講座

趣 旨

子どもから大人まで県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう、小・中学校や公民館において石川の文化・歴史・自然・産業等をテーマとした出前講座を実施する。

対 象

小・中学校： 児童・生徒 ※小学校は、原則４年生以上
公民館： 一般

日 程

① 小・中学校(4校5講座)

	日 時	学校(学年)	演 題	講 師	参加人数
1	6月27日(木) 13:20～14:05	加賀市立 河南小学校(6)	石川の繊維産業 ～カジグ ループのものづくり～	カジナイロン株式会社 経営資源統 括グループ 経営管理部 部長 結城 拓人	23 人
2	6月27日(木) 9:30～12:00	羽咋市立 西北台小学校 (5)	西北台生き物キッズレンジャー 結団式・イカリモンハンミョウ観 察会	西屋 馨 架谷 成美	19 人
3	10月 7日(月) 10:40～11:20	金沢市立 大浦小学校(5)	加賀野菜、金時草について知 ろう	OGAWA's Cosy Kitchen 小川 美樹子	75 人
4	10月24日(木) 11:00～12:00	石川県立 金沢錦丘中学校 (1)	石川県が誇る技	株式会社四十萬谷本舗 専務取締 役 四十萬谷 正和 よろづや観光株式会社 会長 萬谷 正幸 株式会社林農産 代表取締役社長 林 浩陽 株式会社金沢村田製作所 管理部 総務企画課 シニアスペシャリスト 太田 昇 株式会社ファンカンパニー 代表取 締役 神並 大輝	115 人
5	2月27日(木) 13:30～15:00	羽咋市立 西北台小学校 (5)	ホクリクサンショウウオの生息 環境や保護活動の必要性に ついて	架谷 成美	19 人
合 計					251 人

② 公民館(5館6講座)

	日 時	公民館	演 題	講 師	参加人数
1	7月24日(水) 9:30～11:00	野々市市 中央公民館	徳田秋聲の生涯と文学について	徳田秋聲記念館 学芸員 藪田 由梨	23 人
2	7月25日(木) 9:00～12:00	白山市立 館畑コミュニティ センター	伝統技能に挑戦1回目 九谷 焼絵付け体験	九谷焼作家 伝統工芸士 糠川 孝之	11 人
3	8月1日(木) 13:30～15:30	津幡町 井上公民館	石川県の人間国宝⑥	元・石川県立美術館 学芸員 南 俊英	16 人
4	9月5日(木) 13:30～15:00	津幡町 井上公民館	お金にならないお金の話③ 石川県内の出土銭	津幡町文化財保護審議会 会長 芝田 悟	15 人
5	11月17日(日) 10:00～11:00	加賀市立 金明公民館	加賀を訪れた松尾芭蕉の話など	金沢学院大学文学部 名誉教授 柳澤 良一	10 人
6	12月5日(木) 13:30～15:00	川北町文化セン ター	加賀百万石と前田家	小松市立博物館 参事 坂下 雅子	20 人
合 計					95 人

事業の評価(成果・課題)

出前講座は今年度で12年目となる。専門の講師が小中学校や公民館に赴いて、石川の文化・歴史・自然・産業等に関する学びのニーズに応じたテーマの講座を実施している。

立案から実施までのすべてを施設側が行い、経費の一部のみを当センターが負担している。講師選定は、希望があった場合のみ、当センターが行っている。小中学校へは講師派遣に係る旅費を、公民館へは講師謝金と旅費を、当センターが負担している。

今年度は、小中学校から4校5講座、公民館から5館6講座の申し込みがあった。昨年度より、小中学校は9校10講座の減、公民館は1館1講座の増となった。

昨年度までは小中学校の講師謝金も負担していたが、今年度は旅費だけの負担とした。これが小中学校からの申し込みが急減した理由と考えられる。

小中学校の受講者アンケート結果は、「興味をもてたか」の項目で「十分」「概ね」の合計が98%、「全体として満足できたか」の項目で99%であった。公民館の受講者アンケート結果は、「興味をもてたか」で97%、「全体として満足できたか」は98%であった。どちらも大変好評であった。アンケートの自由記述を見ても、小中学校、公民館とも、ほぼすべてが肯定的な意見・感想であった。

今年度実施したすべての公民館から、制度を次年度も利用したいとの要望があった。一方、一部の小中学校からは、講師謝金が学校負担となったため、次年度の利用は検討を要するとの声があった。

制度の新規利用機関が増えるよう、広報に留意したい。

(7) ふるさとモット学び塾 子どもふるさと博士講座

趣 旨

石川の歴史・文化・産業等の中からテーマを取り上げ、子どもたちが体験学習を通して学ぶことで、子どもたちのふるさとへの誇りと愛着心を育むことを目指す。

対 象

小学校4～6年生

日 程

	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	10月5日(土) 9:00～12:00	開講式 金沢城ってどんなお城？ 「金沢城三御門巡り」	金沢城・兼六園管理事務所 小倉 恵子	20 人	11 人
2	10月19日(土) 9:00～12:00	金沢城公園 見どころツアー 「石垣・本丸跡巡り」	城と庭のボランティアガイドの会 高木 信吉、宮島 正彦	20 人	9 人
3	11月 9日(土) 9:00～12:00	金沢城の外庭 兼六園 「金沢城の外庭 兼六園」 「兼六園巡り」 閉講式	金沢城・兼六園研究会 片岸 恵治、宮本 敏子、 小林 達也	20 人	8 人
合 計				60 人	28 人

事業の評価(成果・課題)

今年度は例年の夏季休業中3日間の連続講座から、秋季(10・11月)土曜日3回の分散講座とし、単独回だけの申込み可、対象も中学生を除外し小学校4～6年生とした。各回募集定員20名、先着順としたが、申込締切り時点でいずれも定員を満たしていなかった(10名以下)ため、保護者が同行する参加も認めることとした。申込児童10名のうち、4名の保護者(5名)が同行での参加申込みをした。申込者数は、第1回(金沢城三御門巡り):11名(うち保護者4名)、第2回(金沢城石垣・本丸跡巡り):14名(同5名)、第3回(兼六園巡り):13名(同5名)であった。

参加者募集の広報として、「ふるさとモット学び塾」リーフレット、「募集案内チラシ」の電子データでの県内各小学校配布依頼、県SNS(LINE)での募集情報を発信したが、応募者増には結びつかなかった。申込児童の居住地は、約7割が金沢市とその近隣(白山市、津幡町)であり、遠方では、加賀市、能美市、小松市からの申込みがあった。学年については、小学5年生が最多の5名で、4年生4名、6年生3名であった。全講座(3回)の参加申込をした児童は5名、2講座申込が4名、1講座申込が3名であった。

運営上、秋季開催としたことで、熱中症予防対策を例年ほど気にせず実施できたが、第2回(10/19)と第3回(11/9)については、発熱等の体調不良で欠席者が出た。

講座内容は、キーワードに沿ってより具体的に体験的に学べるよう、座学をほぼなくし、現地で直接学ぶ「〇〇巡り」とした。全体をふりかえってのアンケートでは、「内容は理解できたか」「興味が持てたか」「満足できたか」のどの項目においてもほぼ全員が「あてはまる」「ほぼあてはまる」と回答した。自由記述には、「初めて五十間長屋に入れてよかった。三御門巡りは本当に楽しかった。」「金沢城にしかないことや珍しい事がたくさん知れてよかった。」「とても楽しかった。根上松のでき方などとてもおもしろい話が満載でした。」などの感想があった。心に残る学びの場を提供することができたものと考ええる。

本講座は、開設から6年が経過した。講座開設の趣旨は既に達成していることから今年度をもって終了する。

(8) あすなろ悠々塾

趣 旨

県民の生涯学習支援という観点から、広く一般県民を対象に、生涯学習活動などを通して学んだ成果を生かして講座の講師となる機会を提供し、その成果が社会に生かされることを目指す。

対 象

一般

会 場

石川県立生涯学習センター まなびすとルーム、教室 1

日 程

	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	5月11日(土) 14:00～15:30	生活講座 住まいの片付け・コーディネート術	小坂 宗義	45人	31人
2	5月14日(火) 14:00～15:30	歴史講座 高山右近の真の姿	堀川 惇夫	45人	49人
3	5月22日(水) 14:00～15:30	自然講座 キノコの世界～楽しい森の生態学入門～	野村 泰裕	45人	24人
4	5月29日(水) 14:00～15:30	歴史講座 前田氏百万石への階段 ～史料で見る利家の出世街道～	砂田 武嗣	45人	44人
5	6月5日(水) 14:00～15:30	自然講座 ランの不思議	日尾 章	45人	18人
6	6月13日(木) 14:00～15:30	生活講座 スッキリ暮らす整理収納のきほん	田中 由美子	45人	36人
7	6月18日(火) 14:00～15:30	歴史講座 江戸時代改易された悲劇の藩・悲劇の城 その2	中田 廉子	45人	43人
8	6月22日(土) 14:00～15:30	生活講座 初心者のための珈琲講座～自分の“好き”を見つけよう	雄谷 栄子	20人	17人
9	6月25日(火) 14:00～15:30	産業講座 進化する九谷焼～新しい透明赤絵具の開発を通じて	三宅 幹夫	45人	18人
10	6月28日(金) 14:00～15:30	歴史講座 北国街道「近世の旅と街道の宿」	大刀祢 聖史	45人	37人
11	7月4日(木) 14:00～15:30	生活講座 ビジネス&ライフキャリアをセルフデザインしよう！	倉元 昭彦	45人	16人
12	7月18日(木) 14:00～15:30	健康講座 認知症の理解と関わり～幸せになる介護のために～	中田 有博	45人	12人
13	7月23日(火) 14:00～15:30	生活講座 能登半島地震とボランティアから学んだこと「出会」	三隅 美和子	45人	15人
14	7月27日(土) 14:00～15:30	生活講座 自然に親しみ、木の実でミニ壁飾りを作ろう	中井 理代	10人	6人
15	8月1日(木) 14:00～15:30	生活講座 孫を天才に！祖父母のサポートで才能を伸ばす！	松崎 洋子	45人	13人
16	8月7日(水) 14:00～15:30	生活講座 どうする！どうなる？いしかわの公共交通 ～足もとから考える地域交通の近未来～	吉田 洋	45人	16人

	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
17	8月27日(火) 14:00～15:30	心理講座 自分をより良く知って、人と上手く付き合おう！	塚本 茂樹	45人	16人
18	8月31日(土) 14:00～15:30	生活講座 コミュニケーション上手は生き方上手	蔵 都	45人	17人
19	9月3日(火) 14:00～15:30	健康講座 人生100年、生きがいがづくりで健康長寿	岸 弘市	45人	13人
20	9月9日(月) 14:00～15:30	生活講座 色彩活用術&色で広がるコミュニケーションで元気に	渋谷 夏代	45人	16人
21	9月18日(水) 14:00～15:30	生活講座 日本の「かみがみ」について(5)―山岳修験―	西本 宗之助	45人	32人
22	9月21日(土) 14:00～15:30	生活講座 幸せって何だろう？(幸せを哲がくする)	山本 哲夫	45人	8人
23	9月27日(金) 14:00～15:30	産業講座 クローズアップ金沢港～金沢港ビジョン計画の実現性	末村 春男	45人	7人
24	10月2日(水) 14:00～15:30	自然講座 トキ復活？2026年度以降 能登半島にトキ放鳥決定	西屋 馨	45人	11人
25	10月12日(土) 14:00～15:30	生活講座 文人好みの煎茶道を体験する ～茶道を通じ日本文化を学ぶ～	山岸 澄江	15人	10人
26	10月23日(水) 14:00～15:30	歴史講座 「平家物語」その成立の謎に迫る	後藤 朗	45人	37人
27	10月29日(火) 14:00～15:30	健康講座 認知症の現状と予防・対策	竹下 知子	45人	23人
28	11月5日(火) 14:00～15:30	歴史講座 「百姓ノ持タル国」農民は主役だったのか	角谷 優二	45人	34人
29	11月21日(木) 14:00～15:30	文化講座 オカリナの優しい音色で心身をリフレッシュ	上村 彰	45人	12人
30	11月29日(金) 14:00～15:30	歴史講座 日本は戦争に勝てる戦略があつたのに何故負けたか	谷口 和男	45人	23人
合 計				1260人	654人

事業の評価(成果・課題)

この事業は、受講者と講師が共に成長していく講座として定着しており、今年度は新たな講師5名が加わった。講座数は30講座で昨年度と同数であった。

受講者数は654名と、昨年度より56名増となった。定員を30名から45名に増やしたことが大きな要因になったと思われる。

受講者からは、「来てよかったです。あつという間の時間でした。」「生涯活躍は、サラリーマンから自営業になった私にピッタリでした。いただいたシートは早速やってみます。」「参加する前に考えていた事よりはるかにスケールの大きい話で考えさせられました。」など、好評の声が多く寄せられた。

来年度も受講者のさらなる増加を目指すとともに、ボランティア講師のプレゼンスキル等が高まり、各々の力をより一層発揮できるよう、生涯学習センターとして支援に努めたい。

(9) あすなろ悠々塾講師養成研修

趣 旨

一般県民が生涯学習や社会活動に基づく研究成果を発表する「あすなろ悠々塾」において、次年度の講師となるために、その資質の向上を目指す。

応募者、修了者

応募者3名、修了者2名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

	日 時	内 容	講 師	履修	定員	参加者
1	7月 24日(水) 13:30～15:30	チラシの魅せ方	銅版画家・文筆家 三宅 エミ	必修	10人	2人
2	7月31日(水) 13:30～15:30	選ばれる講師になるために 必要なプレゼンス(存在感)とは？	(株)できる 代表取締役 杉本 嵩龍		10人	2人
3	9月 4日(水) 13:30～15:30	プレゼンテーションの基本	NPO法人キャリアネットワーク北陸 理事長 岡野 絹枝		10人	2人
4	9月18日(水) 13:30～15:30	スピーチプレゼンテーションの技法	NPO法人キャリアネットワーク北陸 理事長 岡野 絹枝		10人	2人
5	令和6年度「あすなろ悠々塾」聴講 ※下記の「あすなろ悠々塾」講座番号15～23の中から1つ聴講し、聴講記録を提出			選択		2人
	8月1日(木)	あすなろ悠々塾 講座番号15	孫を天才に！祖父母のサポートで才能を伸ばす！			
	8月7日(水)	〃 講座番号16	どうする！どうなる？いしかわの公共交通 ～足もとから考える地域交通の近未来～			
	8月27日(火)	〃 講座番号17	自分をより良く知って、人と上手く付き合おう！			
	8月31日(土)	〃 講座番号18	コミュニケーション上手は生き方上手			
	9月3日(火)	〃 講座番号19	人生100年、生きがいづくりで健康長寿			
	9月9日(月)	〃 講座番号20	色彩活用術& 色で広がるコミュニケーションで元気に			
	9月18日(水)	〃 講座番号21	日本の「かみがみ」について(5)―山岳修験―			
	9月21日(土)	〃 講座番号22	幸せって何だろう？(幸せを哲がくする)			
	9月27日(金)	〃 講座番号23	クローズアップ金沢港 ～金沢港ビジョン計画の実現性			
6	11月15日(金) 13:30～15:30	企画書発表会		必修	10人	2人

事業の評価(成果・課題)

今年度の応募者は3名で、修了者は2名であった。受講者からは、「動作の心理、うなることが多くとても参考になりました。時間管理、原稿を書くこと学び多い時間でした。」「具体的な技法と心のあり方の両方を教えて頂き、今後しっかり活用していきたい。」などの声があった。

今回から電子申請を導入したところ、あすなろ悠々塾の受講申込と間違えて申請する方がいた。受講案内冊子の記載をよりわかりやすく改めるとともに、引き続き広報・周知の方法を工夫して受講者の増加に努めたい。

(10) 人権講演会

趣 旨

社会教育における人権教育活動の一環として、人権尊重の理念について県民の理解を深めるとともに、人権意識を高めていくための学習機会を提供する。

対 象

一般及び公民館職員基礎研修受講者

会 場

石川県立生涯学習センター第2会議室

日 程

日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
8月2日(金) 13:00~15:00	人権講演会 「生きやすい社会を作るための ヒントとは？」	北九州市立大学基盤教育 センターひびきの分室准 教授 アン・クレシーニ	150人	69人

(注) ・公民館職員基礎研修と合同開催

・参加人数内訳：公民館職員基礎研修32人、一般32人、学校関係者5人

事業の評価(成果・課題)

今年度より、申込は原則電子申請としたが、特に問題はなかった。また、昨年度、一般参加者のアンケートをGoogleフォームを用いて実施した所、回収率が半分に満たなかったのが、今年度は紙アンケートとした。

テレビ出演したことのある講師のためか、学生の受講者もあり、石川テレビ「ふれあい空間いしかわ」の取材も入った。

クレシーニ氏は、アンコンシャスバイアスや多様性をテーマに、人権と共生社会について講演された。専門分野である和製英語についての楽しいお話と、テンポの良い博多弁や受講者とのやりとりも魅力であった。

公民館関係者からは「生きやすい社会のために、肯定した考え方で地域の方と接していきたい。」、一般参加者からは「視野が広がった。」「普段意識していないことを改めて考えさせられる内容であり、自分自身を振り返る良い機会になった。」などの感想が聞かれた。一般・学校関係者のアンケートでは「全体として満足できた」の項目で100%が「十分」・「概ね」と回答しており、参加者の満足度が非常に高い講演であった。

次年度も、公民館職員基礎研修と合同で実施する。テーマや内容を吟味し、さらなる充実を図りたい。

(11) 世界理解講座

趣 旨

日本人学校教師として、海外に長期間滞在して、現地に精通した講師による講座を開設し、県民がこの講座を通して世界各地のことを学び、国際理解を深めるための一助とする。

対 象

一般

会 場

石川県立生涯学習センター まなびすとルーム

日 程

	日 時	内 容(演 題)	講 師	定員	参加人数
1	11月1日(金) 14:00～15:30	世界そのまんま① 「タイ 微笑みの国にて」	タイ 前・シラチャ日本人学校 教諭 白石 芳子	45人	38 人
2	11月6日(水) 14:00～15:30	世界そのまんま② 「トルコの生活で知ったことⅡ」	トルコ 前・イスタンブール日本人学校 教諭 澤田 祐一	45人	31 人
3	11月16日(土) 14:00～15:30	世界そのまんま③ 「インドネシアのリアル」	インドネシア 前・ジャカルタ日本人学校 教諭 上田 大樹	45人	24 人
4	11月19日(火) 14:00～15:30	世界そのまんま④ 「シンガポールの自然－生物多様性と保全」	シンガポール 元・シンガポール日本人学校 校長 池端 弘久	45人	28 人
5	11月23日(土) 14:00～15:30	世界そのまんま⑤ 「コロナ禍で3年間過ごした中国・上海での暮らし」	中国 前・上海日本人学校 教諭 北川 健太	45人	27 人
6	11月26日(火) 14:00～15:30	世界そのまんま⑥ 「ラッキーカントリーを支えるオーストラリアの鉱業」	オーストラリア 元・シドニー日本人学校 教諭 松浦 直裕	45人	31 人
計				270人	179 人

事業の評価(成果・課題)

昨年度と同じ全6回の実施となった。昨年度から引き続いてのトルコ、インドネシア、シンガポール、オーストラリアの4カ国に、新たにタイと中国の2カ国が加わった。

参加者数は、昨年度の170人から5%増の179人となった。今年度は定員を30人から45人に増やしたが、参加者数には特に変化がなかった。

アンケート結果では、「興味をもてたか」の項目で、「十分」「概ね」の合計が77%、「全体として満足できた」の項目も同じく77%と、比較的高い評価を得た。

アンケートの自由記述には、知らなかった話を聴いて大変ためになったとの回答が多かった。講師側からも、海外での滞在経験を振り返って整理する機会になっていると、好意的な意見が多かった。

(12) ファミリー・カレッジ in 本多の森

趣 旨

主に30歳代から40歳代の子育て世代を対象に、子どもを含むファミリー層の生涯学習に対する意欲を引き出し、全ての世代を通じた生涯学習の推進を図る。

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

	日 時	対 象	内 容(演 題)	講 師	定員	参加人数
1	6月30日(日) 13:30～15:00	小学4～6年生 とその保護者 及び一般	「どうなるの？石川県の環境と気候 ～災害から命を守るポイント～」	気象予報士 池津 勝教	150人	親子 10組 23人 一般 47人
2	7月13日(土) 13:30～15:30	小学4～6年生 とその保護者	「夏休み自由研究の題材を考えよう」	金沢大学 准教授 青木 賢人 県立伝統産業工芸館副館長 瀧山 英真 県近世史料編さん室 主任主事 岩田 裕斗	55組	19組 40人
3	10月26日(土) 13:30～15:00	小学4～6年生 とその保護者 及び一般	「鉄道写真家中井精也が見つけた 石川県と日本全国の鉄道の魅力」	鉄道写真家 中井 精也	150人	親子 5組 10人 一般 79人
4	11月30日(土) 13:30～15:00	小学1～3年生 とその保護者	「親子で楽しくダンス教室」	RAISE / DIG UP!! 森本 雄太	35組	38組 85人
合 計						284人

事業の評価(成果・課題)

今年度も「ふるさと教育」をテーマに、小学4～6年生とその保護者を対象とした講座を3回、更に低学年対象としたワークショップ型講座を1回実施した。また、第1回と第3回は一般の受講も可として実施し、参加者をある程度確保することができた。中央からの著名講師として鉄道写真家中井精也氏を招いた講演会を開催した。今年度の参加者数は284人で昨年度の214人より増加した。

アンケート結果では、「興味を持てる内容である」100%（十分+おおむね）、「満足できた」同99.6%と高い評価を得た。また、「災害について子どもと話し合いながら色々知ることができました。」「子どもと歴史を勉強する良い機会になりました。」「とても興味が湧く内容であり、家族でも災害について真面目に話す必要があると思いました。」「すごくわかりやすく、楽しい時間を過ごせました。」「季節によってちがうけしきがきれいだった。」などの感想が寄せられ大変好評であった。

本事業は今年度を以て終了する。

(13) 兼六ビデオ講座

趣 旨

当センター視聴覚ライブラリーが所蔵するビデオ教材を活用し、映像を通して本県を含め幅広く我が国の歴史や文化について学ぶ機会とする。

対 象

一般県民

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

・ 1期

番号	日 時	内 容(演 題)			定員	参加人数
1	6月 4日(火) 13:45～15:45	ふれあい空間いしかわ 2019～2020 加賀百万石の“釣り心・魚心” ～加賀竿唯一の職人～ (2019年制作)	いしかわ大百科1999 いしかわ文学散歩シリーズ ふるさと金沢を愛す ～井上雪～	ガラパゴス(2008制作) ①炎からの誕生	48 人	12 人
2	6月11日(火) 13:45～15:45	〃 こつら細工教室 ～河内民芸品振興会～ (2019年制作)	〃 人の魅力 ～杉森久英～	〃 ②進化論が生まれた島	48 人	17 人
3	6月18日(火) 13:45～15:45	〃 地域コミュニティの場は 北前船ゆかりの家 ～蘇梁館～(2020制作)	〃 山を見よ！自然に帰れ！ ～深田久弥～	〃 ③大自然の偉大な力	48 人	14 人

・ 2期

番号	日 時	内 容(演 題)			定員	参加人数
1	6月25日(火) 13:45～15:45	いしかわ大百科2020 シリーズ・石川わがまち 代表 復活！幻の地豆 ～珠洲・大浜大豆～	いしかわ大百科2004 かがのと義経紀行 第1幕 北陸の義経伝説の謎	林野庁監修 日本の森 ／森に生きる 生命の宝庫・亜熱帯の森 ～沖縄・奄美の島々～ (2008制作)	48 人	16 人
2	7月 2日(火) 13:45～15:45	〃 冬の兼六園 ～雪吊りの美～	〃 第2幕 勸進帳秘話	〃 暖温帯の森 ～生命をつなぐ知恵～ (2009制作)	48 人	14 人
3	7月 9日(火) 13:45～15:45	〃 工芸王国石川 ～国立工芸館～	〃 第3幕 鳴るはの滝の舞	〃 四季が育む生命の山々 ～東北・冷温帯の森 (2010制作)	48 人	15 人
4	7月16日(火) 13:45～15:45	〃 太古からのメッセージ ～能美古墳群～	〃 第4幕 生神の女性たち	〃 北の大地に息づく命 ～亜寒帯・北海道の森～ (2012制作)	48 人	20 人
5	7月23日(火) 13:45～15:45	〃 堅牢優美 ～輪島塗の沈金～	〃 第5幕 奥州への足がかり	〃 森に生きる ～森の名手・名人～ (2006制作)	48 人	16 人

・ 3期

番号	日 時	内 容(演 題)			定員	参加人数
1	9月3日(火) 13:45～15:45	いしかわ大百科2021 シリーズ・石川わがまち 代表 城下をうるおす ～金沢用水めぐり～	いしかわ大百科2004 ふるさと探訪シリーズ・名 木のある街 金沢さくら物語	日本のチカラ いつも心に「ハレ」の日を ～彩り結ぶ加賀百万石 の水引～(2017制作)	48 人	14 人
2	9月10日(火) 13:45～15:45	〃 精巧緻密な伝統の技 ～建具のまち・田鶴浜～	〃 さくら沿線 能登を訪ね て…	〃 未来へ響け！槌の音 ～若き鍛冶職人の挑戦～ (2016制作)	48 人	16 人
3	9月17日(火) 13:45～15:45	〃 咲き誇る八重桜 ～倶利伽羅峠～	〃 白山ろく 白き山の恵み	〃 越中八尾のカラフル和紙 ～おわらの街に生きる人々 ～(2016制作)	48 人	18 人
4	10月1日(火) 13:45～15:45	〃 極上の着心地 ～盛夏の着物・能登上 布～	〃 詩に詠まれた名木	〃 世界がとりこ！高級爪切り ～鍛冶屋の工場革命～ (2015制作)	48 人	19 人

・ 4期

1	10月29日(火) 13:45～15:45	いしかわ大百科2021 シリーズ・石川わがまち 代表 生き物たちの楽園 ～白山ろくの森と清流～	ふれあい空間いしかわ 2021～2022 南加賀の名山を全国発 信！～滝ヶ原町鞍掛山 を愛する会～ (2021制作)	文春ノンフィクション (1991～1993制作) ドキュメント 糸川英夫 私と戦闘機「隼」	48 人	16 人
2	11月12日(火) 13:45～15:45	〃 加賀路俳句散歩 ～芭蕉の旅をめぐる～	〃 地域の伝統野菜に愛着 を ～ふたつか☆キッズ ファーム～(2021制作)	〃 ドキュメント 柳田邦男 私と零式戦闘機	48 人	16 人
3	11月19日(火) 13:45～15:45	〃 旅をする蝶が舞う ～能登最高峰・宝達山 ～	〃 100年後も残したい赤瓦 の集落 ～里山を守る国際ワーク キャンプ～(2022制作)	〃 ドキュメント 阿川弘之 私と「パールハーバー」	48 人	16 人
1期から4期までの合計						239 人

事業の評価(成果・課題)

今年度も4期に分けて実施した。

県民大学校放送利用講座として放映された「いしかわ大百科」からは24本、「ふれあい空間いしかわ」からは6本を上映した。いずれも、石川県の歴史・文化を学び、郷土についてより深く知りたいという県民のニーズに十分応え得る内容であり、受講生からも好評であった。

「ガラパゴス」、「日本の森／森に生きる」、「日本のチカラ」、「文春ノンフィクション」の各シリーズについては、いずれもユニークな内容で、毎回楽しく学ぶことができたなどの感想があった。

当センター視聴覚ライブラリーでは良質の映像教材を数多く所蔵しており、これらの教材を活用した学習機会の提供は重要であるので、今後とも、受講者の関心を引き出すような配慮をして実施していきたい。

(14) 本多の森シネマアーカイブ

趣 旨

当センター視聴覚ライブラリーが所蔵するVHSビデオの貴重な映像教材を活用し、過去の自然、文化、歴史、人権、芸術等を学ぶ機会とする。

対 象

一般県民

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	定員	参加人数
1	12月5日(木) 13:45～15:30	①日本の詩情 伊勢参り ②極める日本の美と心 京都の名利 浄瑠璃寺 ③フューチャー・イズ・ワイルド 500万年後の世界	20 人	11 人
2	12月12日(木) 13:45～15:30	①日本の詩情 佐治谷の阿呆話 ②極める日本の美と心 京都の名利 枯山水 ③フューチャー・イズ・ワイルド 1億年後の世界	20 人	12 人
3	12月19日(木) 13:45～15:30	①日本の詩情 池と金毘羅 ②極める日本の美と心 京都の名利 曼殊院 ③フューチャー・イズ・ワイルド 2億年後の世界	20 人	10 人
4	1月9日(木) 13:45～15:30	①日本の詩情 長崎のおくんち ②NHK思い出倶楽部 ジェスチャー ③新世界紀行 歴史街道編 アレキサンダー大王の道 1	20 人	12 人
5	1月16日(木) 13:45～15:30	①日本の詩情 牧歌の町 ②NHK思い出倶楽部 お笑い三人組 ③新世界紀行 歴史街道編 アレキサンダー大王の道 2	20 人	10 人
合 計				55 人

事業の評価(成果・課題)

古い記録として今では貴重なものとなった映像等を県民の方々に見ていただけた。他では見る機会が少ない映像の数々であり、貴重な体験をしていただけたと思う。当センター視聴覚ライブラリーでは、今後もこのようなVHSテープを大切に保管し、貴重な映像を後世に伝えていきたいと考えている。

(15) 本多の森シアター

(夏の子ども映画会)

趣 旨

映画鑑賞を通して幼児や小学生の心豊かな生活、育成に寄与する。

対 象・定 員

幼児、小学生及び保護者 各回20組(1組3名以内)

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	定員	参加人数
1	8月 8日(木) 10:30～12:00 14:00～15:30	①レオ・レオ二作「スイミー」 ②いとうひろし作 「だいじょうぶ だいじょうぶ/へびくんのおさんぽ」 ③「山ねずみ ロッキーチャック みどりが森のまいご」 ④「人形アニメ 日本民話 地蔵浄土」	60 人	44 人
合 計				44 人

事業の評価(成果・課題)

昨年の参加人数7人から大幅増加となった。当映画会は、休業期間中の子どもたちに良質の映像作品を視聴してもらう機会となっており、今後も引き続き、多くの子どもたちに対する視聴環境の確保を図りたい。

(秋の映画会)

趣 旨

当センター視聴覚ライブラリー所蔵の視聴覚教材の中から、貴重な記録映像や名作映画等を上映することによって、県民に生涯学習の機会を提供するとともに、視聴覚教材の貸出利用を図る。

対 象

一般県民

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	定員	参加人数
2	10月26日(土) 10:45～11:45	16ミリ映画 「未来人口と高齢化社会」(1980年頃制作) 「原子力発電とその安全性」(1982年頃制作)	32 人	7 人
	同 14:00～15:00	「能登」 「石川人国記 製塩業に賭ける 藻寄行蔵」 「石川人国記 郷土を著す 小田吉之丈」	46 人	6 人
合 計				13 人

事業の評価(成果・課題)

今年度もマナビフェアに併せて実施し、午前の部は1980年代の16ミリ映画を、午後の部は、能登半島地震からの復興を願って、能登の歴史と風土、並びに能登の発展と文化の継承に尽力した先人の歩みを振り返る作品を上映した。

今後も、本館で所蔵する貴重な映像教材の活用を図っていきたい。

3 学習情報・教材提供

(1) 石川県生涯学習情報提供システム(あいあいネット)

業務内容

県民の多様な生涯学習ニーズに対応した「講座案内」、「講師案内」、「視聴覚教材情報」、「ふるさと情報」、「イベント情報」の提供をインターネット上で行っている。

また、県制作DVD「今蘇る石川の記録映像」の映像配信及び当センター主催の「ふるさとモット学び塾」講座の動画配信も行っており、幅広く県民の要望に応えるべく、充実した生涯学習情報の提供に努めている。

対 象

一般県民

運 用

サーバーを県庁内ネットワーク管理室に設置し、石川県立生涯学習センターと専用回線で接続して、24時間運用している。

提供情報

<データベース>

(令和7年3月31日現在)

区 分	内 容	データベース 保有件数	令和6年度 延べアクセス件数
講 座 案 内	県内の各種講座・講演会等	1,728	29,100
講 師 案 内	講演会・学習会等の講師や地域の指導者	288	7,657
視聴覚教材情報	16ミリフィルム・ビデオ・CD・DVD教材	12,338	28,912
ふるさと情報	県内の名所・史跡・名物・祭り・観光コース等	2,438	202
イベント情報	県内の各種事業・イベント・催し物等	89	230
映 像	今蘇る石川の記録映画	12	365
	ふるさとモット学び塾講座ビデオ	95	639
合 計		16,988	67,105

データベース情報アクセス件数の推移

(令和7年3月31日現在)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延べアクセス件数	56,584	60,695	62,222	65,417	67,105

(2) まなびすとルーム

業務内容

ルーム内に、学習スペース・視聴覚ライブラリー・県民企画展示コーナー(マナビィコーナー)・生涯学習関係刊行物等の閲覧コーナーを有し、広く県民に対して生涯学習に関する会場の提供・情報提供及び、学習相談、学習成果のPRを行っている。

対 象

地域における社会教育関係団体等の職員及び一般県民

開館日・時 間

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場 所

石川県立生涯学習センター2階

(3) 視聴覚ライブラリー

業務内容

視聴覚教材(DVD・CD等)の整備・貸し出しを主な業務とし、映像を通して県民の生涯学習活動の推進を図る。

対 象

県内の公民館・学校などの団体
県内在住または在勤の個人の方(高校生以上)

開館日・時 間

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場 所

石川県立生涯学習センター2階

視聴覚教材保有状況

(令和7年3月31日現在)

区 分 \ 本 数	令和5年度	令和6年度		合 計
		購 入	寄 贈・その他	
16ミリフィルム	1,556 本	0 本	0 本	1,556 本
ビデオテープ	5,928	0	0	5,928
CD	822	0	0	822
DVD	2,470	39	56	2,565

利用状況

(令和7年3月31日現在)

区 分 \ 本 数	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数
16ミリフィルム	2	65	0	0	0	0	8	327	36	803
ビデオテープ	16	141	26	257	16	247	20	248	19	267
CD	162	719	149	1,354	195	1,063	210	802	251	389
DVD	1,339	6,224	1,136	4,219	1,448	4,848	1,138	4,152	1,397	3,693

(4) 生涯学習センターだより(館報)

発行日 ・号数	巻 頭 言	「出 会 い」
5月23日 第288号	表題 「令和6年度能登文化講座について」 執筆者 石川県立生涯学習センター館長 山越 善耀	表題 「布絵本との出会いから心豊かに」 執筆者 ボランティアサークルおもちゃ箱代表 坂井 満利子
11月21日 第289号	表題 「防災こそ生涯学習である」 執筆者 石川県立大学准教授 山下 良平	表題 「生涯学習との出会い」 執筆者 あすなろ悠々塾講師 三隅 美和子

(5) 県民企画展示(マナビィコーナー)

趣 旨

当センター内に展示コーナーを設け、生涯学習に取り組む県民の学びの成果を披露する場とする。
これにより、生涯学習に取り組む人達のさらなる意欲の向上や、展示発表を交流の場として活用することで、生涯学習に取り組む人の増加を図る。

対 象

一般県民

日 時

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場 所

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容	資料提供・展示協力
1	4月 8日(月)～ 4月22日(月) 9:00～18:00	「I love いしかわ写真展」	石川県職員退職者会 写真クラブ「椎」
2	5月 3日(金)～ 5月24日(金) 9:00～18:00	みんなに伝えたい!金沢競馬の魅力 金沢競馬写真コンテスト入賞作品展	うちの仔カフェ
3	6月 2日(日)～ 6月29日(土) 9:00～18:00	東田 京子 “ 移りいく日 ” 日本画・ 水墨画展	東田 京子
4	7月 6日(土)～ 7月30日(火) 9:00～18:00	石川県愛瓢会作品展示会	石川県愛瓢会
5	8月 2日(金)～ 8月31日(土) 9:00～18:00	布絵本作品展	ボランティアサークル おもちゃ箱
6	9月 4日(水)～ 9月27日(金) 9:00～18:00	石川県民大学校 美川刺繍教室作品展	石川県民大学校 美川刺繍教室
7	10月12日(土)～11月10日(日) 9:00～18:00	第5回鉄道写真展	第5回鉄道写真展 実行委員会
8	11月16日(土)～11月30日(土) 9:00～18:00	第43回石川県児童・生徒俳句大会入選 作品展	石川県俳文学協会
9	12月 3日(火)～12月17日(火) 9:00～18:00	崎浦公民館写真コンテスト出展作品	金沢市崎浦公民館
10	1月 7日(火)～ 1月31日(金) 9:00～18:00	佃 アシ ひとり展	津田 明恵
11	2月 2日(日)～ 2月21日(金) 9:00～18:00	2024年度 諸江公民館視聴覚部 フォトサークル写真展示	金沢市諸江公民館
12	3月 2日(日)～ 3月23日(日) 9:00～18:00	鞍月公民館 くららアトリエ展	金沢市鞍月公民館

事業の評価(成果・課題)

個人や団体の創作や学習活動の成果を広く県民に紹介する場として利用されている。今年度は、刺繍、写真、瓢箪、布絵本、水墨画、俳句など広い分野にわたる展示が行われ、多くの方にご来館頂き生涯学習の啓発にも繋がった。また、どの展示も作者の思いが込められた作品で、学習意欲の高さを伺い知ることができた。今後とも、県民の方々が生涯学習の成果を発表し交流の場となるよう工夫とPRに努めていきたい。

4 指導者養成・研修

(1) 公民館職員基礎研修(公民館長基礎研修・公民館主事基礎研修)

趣 旨 生涯学習・社会教育で地域の拠点となる公民館の経営並びに事業に関する基礎的な知識及び技術の修得を図る。

対 象 公民館長及び公民館主事等

会 場 石川県立生涯学習センター、オンライン、県庁1102会議室

日 程

	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	6月21日(金) 10:00～12:00	人々の生涯学習を応援する意義と 職員の役割	金沢美術工芸大学 教 授 桑村 佐和子	60人	33 人
	13:00～13:30	公民館で学んでつながる	石川県公民館連合会 会 長 竹上 勉		
	13:30～15:00	公民館実践発表	珠洲市立正院公民館 館 長 小町 康夫		
			白山市美川コミュニティセンター センター長 二口 伸也		
			加賀市立橋立公民館 館 長 吉野 裕之		
2	7月9日(火) 10:00～12:00	公民館活動による学びあい支え合う 地域づくり	金沢大学 名誉教授 浅野 秀重	60人	33 人
	13:00～15:00	いしかわ地域づくりシート 障害者の生涯学習の推進	県教育委員会生涯学習課 主任社会教育主事 下口 勲		
3	8月2日(金) 10:00～12:00	公民館のSDGs	株式会社LODU 執行役員 CTO/CIO 金沢工業大学 研究員 鈴木 健斗	60人	33 人
	13:00～15:00	人権講演会 生きやすい社会を作るためのヒント とは？	北九州市立大学基盤教育センターひび きの分室 准教授 アン・クレシーニ		32 人
4	8月21日(水) 10:00～12:00	防災施設としての役割と実践	NHK金沢放送局 気象予報士 池津 勝教	60人	29 人
	13:00～14:30	SNSを安全に利用するために	まるおかデジタル株式会社 代表取締役社長 佐藤 英治		
	14:30～15:00	公民館実践発表(SNSの活用)	金沢市旭日公民館 主 事 川田 亜紀子		
5	9月17日(火) 10:00～12:00	地域づくりを担う方のための場づくり講 座	場作り研究所B. A labo 代 表 香林 せいこ	60人	26 人
	13:00～15:00				
合 計				300人	186 人

(注) ・第1日・第2日は必修講座

・第1日・第2日は、市町生涯学習担当者基礎研修第1日・第2日と合同開催
(市町生涯学習担当者基礎研修参加者は第1日9人、第2日8人。)

・第3日午後の「人権講演会」は、一般公開(参加人数は公民館関係32人＋一般・学校関係者37人)

・第1日・第4日は、Zoomによるオンライン研修。第2日の会場は県庁。

事業の評価(成果・課題)

計画通りの日程で実施できた。受講申込者は37名、うち館長18名、主事等15名の計33名が修了した。

今年度は第2日の県生涯学習課からの行政説明を削除し、同日午後の講義の中に盛り込むように変更した。同日は受講者の石引駐車場の料金負担や車の便を考慮し、県庁で実施した。また昨年度の研修で受講者の理解度に差が出た「SNS」をテーマとした研修(第4日)では、公民館からの実践発表を加える工夫をした。

5回の研修のアンケートの平均を昨年度と比較すると、「今後に生かせるか」(十分当てはまる)39.2%→53.6%、「満足か」(十分当てはまる)38.4%→57.2%であり、改善がみられる。今後に活かせる内容としては昨年に引き続き第5回の講座が突出していた(十分当てはまる84%。他の講座は40～60%)。講義だけでなく、演習、情報交換など、受講者のアウトプットの場を設定し、理解度・満足度を高め、実践につなげたい。また、昨年度よりアンケートをGoogleフォームで行うことでアンケート処理の効率化を図った。

なお、第1日、第4日はZoomによるオンラインで実施したが、特にトラブルはなかった。昨年に引き続き白山市は市役所で合同受講する人数が多い。昨年度からの改善点は、受講者の様子を映す大型ディスプレイを別途準備したこと、受講者の提案を受け、研修開始前のスライド放映時に音楽を流して、音量チェックを行えるようにしたことである。可能であれば、オンラインの講義でも、受講者参加型となる工夫を取り入れたい。来年度も5日間のうちオンライン2日、対面3日で実施する。

研修日程は、公民館の業務が忙しくなる9月下旬の社会体育大会や10月に予定されていた公民館全国大会(金沢で開催予定、能登半島地震のため中止)を考慮し、例年より前倒しした。アンケートでも特に要望はなかったため、来年度も同様の日程で実施したい。また、来年度のZoom研修は講師に事前の了解を得て講座を録画し、後日視聴することで単位を認めるなど、より受講しやすい研修となるよう検討したい。

(2) 公民館職員専門研修(公民館長専門研修・公民館主事専門研修)

趣 旨

生涯学習・社会教育で地域の拠点となる公民館の経営並びに事業に関する専門的な知識及び技術の修得を図る。

対 象

基礎研修を修了した公民館長及び公民館主事等

会 場

石川県立生涯学習センター、オンライン、石川県庁1104会議室

日 程

	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	6月24日(月) 10:00～12:00	社会教育・生涯学習の最新動向から公民館を考える	富山大学 教 授 藤田 公仁子	30人	8 人
	13:00～16:00	多様な『つながり』で目指す持続可能な地域社会づくり			
2	8月20日(火) 10:00～12:00	社会教育事業の運営と地域づくり	金沢大学 名誉教授 浅野 秀重	30人	5 人
	13:00～16:00	障害のある人と共に生きる地域づくり	金沢大学 教 授 吉村 優子		
3	9月12日(木) 10:00～12:00	公民館実践発表(SNSの活用とつながりづくり) 他	高岡市福岡公民館 生涯学習支援員 横越 知亜紀	30人	5 人
	13:00～16:00	人は聞き方が9割 できる！効果的なファシリテーション	株式会社 できる 代表取締役社長 杉本 嵩龍		
合 計				90人	18 人

(注)・第1日は必修講座。Zoomによるオンライン研修。

・第2日の会場は石川県庁。生涯学習・社会教育担当者等研修と合同開催

(参加人数は上記以外に、生涯学習・社会教育担当者等研修13人)

選択研修

4	5時間相当	ふるさと発見出前講座の申込み計画立案・実施・報告書
5	5時間相当	金沢大学市町共催公開講座の申込み計画立案・実施・報告書
6	15時間相当	ファシリテーター養成講座Aコース(3日間)
7	5時間相当	社会教育フォローアップ研修第1回・第2回(2日間)
8	5時間相当	いしかわ地域づくりシートの活用実践と報告書および作成シートの提出
9	5時間相当	月刊公民館ちゃんねる動画視聴・報告書(3本)

事業の評価(成果・課題)

計画通りの日程で実施することができた。受講申込者は7名、うち館長3名、主事2名の計5名が修了した。

昨年度からの変更点は、第2日午後のCoDeLシート演習を、障がい者の生涯学習にし、第3日のファシリテーションを半日にして午前にSNS活用の実践発表を加えた。また、主事が1年間で修了できるよう、別途選択研修を新設したが、申し込みは1名(7と8)のみであった。

第1日はZoomによるオンラインで実施した。少人数のため、受講者と講師のやり取りが多く、満足度A評価は昨年の25%→63%と高くなった。

SNSの活用では、福井県上志比公民館とZoomでつながる体験をしてもらった。また、後半は今年的基础研修でおこなったSNS活用のZoom研修での録画の一部(「SNSを安全に利用するために」)を視聴した。

第2日の障害者の生涯学習、第3日のファシリテーション研修は、「特に良い」との評価がともに100%だった。3回の研修アンケートの平均を昨年度と比較すると、「今後に生かせるか」(十分当てはまる)37.7%→53.3%、「満足か」(十分当てはまる)45.0%→75.3%となり、研修内容の改善がみられる。

課題は受講者の減少である。

申込者数は、基礎研修ともに減少した。令和6年1月の能登半島地震の影響も考えられるが、県公民館連合会から各公民館に受講を勧めてもらうなど、受講者増に繋がる方策を検討したい。

(3) ファシリテーター養成講座

趣 旨

地域や職場等で直面している問題に取り組むため、市町職員、公民館職員、NPO職員にファシリテーターとしての知識及び技能の修得を図る。

参加対象

県・市町職員、公民館職員、NPO職員

会 場

石川県立生涯学習センター 第3会議室、教室1、まなびすとルーム等

日 程

【Aコース】

	日 時		内 容	講 師	定員	参加人数
1	7月11日(木)	10:00～16:00	Aコース ①	橘泰至行政書士事務所 行政書士 橘 泰至	20人	28 人
2	7月12日(金)	10:00～16:00	〃 ②	〃	20人	29 人
3	7月13日(土)	9:00～12:00	〃 ③	〃	20人	28 人
合 計					60人	85 人

【Bコース】

	日 時		内 容	講 師	定員	参加人数
1	9月5日(木)	10:30～16:30	Bコース ①	発創デザイン研究室 代表 富永 良史	20人	22 人
2	9月6日(金)	10:00～16:00	〃 ②	〃	20人	21 人
3	9月19日(木)	13:00～16:00	〃 ③	生涯学習センター職員	20人	17 人
4	9月20日(金) ～11月15日(金)		実地体験(各自)	—	20人	15 人
5	11月28日(木)	13:00～16:00	Bコース ④	生涯学習センター職員	20人	15 人
合 計					100人	90 人

事業の評価(成果・課題)

受講者に本講座のことをどうやって知ったか尋ねると、Aコースは「知人の紹介」26%、「県公式LINE」18%、「広報いしかわ」16%、Bコースは「知人の紹介」29%、「県公式LINE」25%となり、これらで半数近くを占めている。今年度の申込者数はAコース37人、Bコース29人で、昨年度よりAコースが11人増、Bコースが5人増となった。

平成20年度開講の本講座は今年度で16年となる。修了者も200人を越え、認知度も深まった結果、「知人の紹介」の割合が高くなっていると考えられる。申込者数は増えたものの、Aコース、Bコース全課程を受講した修了生は11人となり昨年度と同人数であった。

アンケート結果では、「全体として満足できた」の問いに対して、「十分」「概ね」との回答が両コースともに100%となり大変好評であった。受講者からは、「新たな視点や、悩みが解決されたのでよかった。」「分かりやすく、アットホームな雰囲気、緊張せずに受講できた。」「どの時間も大変内容が濃く良かったです。」などの感想が寄せられた。

受講者からは「実践する機会の提案や、修了生が集まる機会を作って欲しいです。」「スキルアップの講座があればいいと思います。」との声も寄せられており、修了生による自主的な組織「Fの会」を通して要望に答えられるように取り組みたい。

(4) 市町生涯学習担当者基礎研修

趣 旨

本年度、市町の生涯学習担当課、市町の生涯学習施設、県生涯学習課、県立生涯学習センター等の職員になった者を対象に、生涯学習に関する行政や事業を推進するうえで必要な基礎的知識の修得を図る。

対 象

市町生涯学習担当課、市町生涯学習施設、県生涯学習課、県立生涯学習センター等の1年目の職員、若しくはそれに準ずる者及び希望者で原則として2日間受講できる者

会 場

オンライン（石川県立生涯学習センター）、県庁1102会議室

日 程

	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	6月21日(金) 10:00～12:00	人々の生涯学習を応援する意義と職員の役割	金沢美術工芸大学 教 授 桑村 佐和子	30人	9 人
	13:00～13:30	公民館で学んでつながる	石川県公民館連合会 会 長 竹上 勉		
	13:30～15:00	公民館実践発表	珠洲市立正院公民館 館 長 小町 康夫		
			白山市美川コミュニティセンター センター長 二口 伸也		
			加賀市立橋立公民館 館 長 吉野 裕之		
2	7月9日(火) 10:00～12:00	公民館活動による学びあい支え合う地域づくり	金沢大学 名誉教授 浅野 秀重	30人	8 人
	13:00～15:00	いしかわ地域づくりシート 障害者の生涯学習の推進	県教育委員会生涯学習課 主任社会教育主事 下口 勲		
合 計				60人	17 人

(注)・6月21日は、公民館職員基礎研修第1日と合同開催(参加人数は、上記以外に公民館職員基礎研修33人)

・7月9日は、公民館職員基礎研修第2日と合同開催(参加人数は、上記以外に公民館職員基礎研修33人)

事業の評価(成果・課題)

2日間とも公民館職員基礎研修と合同で開催した。

第1日はZoomでのオンラインで実施した。午前は「生涯学習を応援する意義と職員の役割」についての講義、午後は公民館からの実践報告が行われた。

第2日は、昨年度実施した県生涯学習課の行政説明に代えて、公民館の役割や生涯学習における位置づけの講義および、「いしかわ地域づくりシート」の演習に取り組んだ。また、障害者の生涯学習推進についての内容を新たに加えたが、時間の関係であまり触れることはできなかった。

受講者からは「災害時の施設開場についてや避難所運営など、大変参考になった。」「各地域でどんな取り組みを行っているかを知る良い機会となった。」「公民館が求められる役割の大きさを痛感した。少しでも後押しができるようにしたい。」「社会教育に取り組むに当たって、どう市の事業と絡めていくか考えるきっかけになった。」などの意見が出された。

実施要項に欠席する際の事前連絡徹底について記載したためか、昨年度と比較して、欠席者はほとんどいなかった。

(5) 16ミリ発声映写機操作技術認定講習会

趣 旨

学習教材として16ミリフィルムの活用を図るとともに、フィルム保全のため正しい映写技術の普及に努める。

対 象

一般県民 随時受付

会 場

石川県立生涯学習センター

内 容

16ミリ発声映写機操作技術認定講習(学科、実技)

講 師

石川県立生涯学習センター職員

日 程

日 時	時 間	参加人数
12月13日 (金)	13:00～17:00	1 人

事業の評価(成果・課題)

講習日なるべく限定せず、希望者の日程に合わせて実施し、映写技術の継承を図っている。
16ミリ映画教材の利用継続のため、今後も講習実施の周知に努めたい。

5 マナビフェア in 本多の森 2024

趣 旨

いしかわ教育ウィーク（11月1日～7日）に合わせ、生涯学習に関する県民の理解を深め、生涯学び続ける気運を高める。

主 催

石川県立生涯学習センター

会 場

石川県立生涯学習センター

内 容

催 事 内 容		日 時	会 場	対象 ・定員	参加 人数
展 示	県民大学校ポスター展(過去の応募作品)	10月26日(土) ～11月8日(金) 9:00～18:00	中2階通路	一般	278 人
	県民大学校企画展(ふるさとふれあい講座「珠洲の塩田・・・」資料)				
	県民大学校能登校企画展(講座実施状況の写真等)				
	県民大学校実施機関:石川県立自然史資料館展(館の紹介、企画展示)				
	県民大学校実施機関:石川県埋蔵文化財センター展(館の紹介、企画展示)				
	県民大学校実施機関:美川刺繍教室作品展(ボタニカルアート)				
	内灘高校浅野川線研究会写真展(活動記録)(10/26～10/31)				
	珠洲市正院公民館展(能登半島地震発生時の避難所運営状況の記録)				
	金沢市菊川町公民館展(防災すごろく)				
	県民企画展示 第5回鉄道写真展(10/12～11/16)		まなびすとルーム (マナビィーコーナー)		
実 演 ・ 販 売	ミニ・コンサート ハンドベル演奏(北陸学院中学校ハンドベルクラブ)	10月26日(土) 15:05～15:25	1階ロビー	一 般	90 人
	出張マルシェ(野菜・食品の販売)(翠星高校ビュアーマート)	10月26日(土) 13:00～15:00			
	石川県民大学校講座動画放映	10月26日(土) 10:00～16:00	まなびすとルーム (学習スペース)		
	石川県埋蔵文化財センター勾玉づくり体験コーナー JRぬりえ・ペーパークラフトコーナー				
講 座 等	ファミリー・カレッジin本多の森(第3回)(再掲) 「鉄道写真家 中井精也が見つけた石川県と日本全国鉄道の魅力」 講師:鉄道写真家 中井 精也 氏	10月26日(土) 13:30～15:00	第2会議室	小4～6と 保護者、 一般150人	親子 5組10人 一般79人
	兼六ビデオ講座(再掲) いしかわ大百科2021 シリーズ石川わがまち代表「生き物たちの楽園～白山ろくの森と清流～」 ふれあい空間いしかわ「南加賀の名山を全国発信!～滝ヶ原町鞍掛山を愛する会～」 文春ノンフィクション「ドキュメント糸川英夫私と戦闘機「隼」」	10月29日(火) 13:45～15:45	第3会議室	一般 48人	16 人
	世界理解講座 世界そのまんま①(再掲) 「タイ 微笑みの国にて」 講師:前・シラチャ日本人学校教諭 白石 芳子 氏	11月1日(金) 14:00～15:30	学習スペース	一般 45人	38 人
	世界理解講座 世界そのまんま②(再掲) 「トルコの生活で知ったことII」 講師:前・イスタンブール日本人学校教諭 澤田 祐一 氏	11月6日(水) 14:00～15:30	学習スペース	一般 45人	31 人
	映画会	本多の森シアター(秋の映画会)(再掲) 「未来人口と高齢化社会」「原子力発電とその安全性」 「能登」「石川人国記 製塩業に賭ける 藻寄行蔵」 「石川人国記 郷土を著す 小田吉之丈」	10月26日(土) 10:45～11:45 14:00～15:00	第3会議室	一般 78人
合 計					555 人

事業の評価(成果・課題)

今年度は、能登半島地震からの復興をテーマにした展示を取り入れ、珠洲市立正院公民館による能登半島地震発生時の活動状況報告と金沢市菊川町公民館による防災すごろくの展示を誘致し、県生涯学習課主催の文部科学省補助事業(被災地の子供への学習・体験活動の提供支援事業)の実施状況と当センター能登分室による活動状況の写真展示を併せて実施した。また、フェア当日開催のファミリー・カレッジに連動する形で新たに内灘高校浅野川線研究会による写真展示も誘致した。今後も、新たな取組みを取り入れながら、県民の生涯学習の成果発表の場として、展示・実演の充実を図っていきたい。

6 他の機関・団体との主催・共催事業

(1) 生涯学習・社会教育担当者等研修

趣 旨

中央教育審議会答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」の中で、地域における社会教育には、一人一人の生涯にわたる学びを支援し、住民相互のつながりの形成を促進すること、地域の持続的発展を支える取組に資することが、より一層期待されている。そのような方向性を踏まえ、本研修をとおして、さまざまな担い手が連携・協働した社会教育の推進について考えることを目的とする。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会

共 催

石川県教育委員会

対 象

市町生涯学習・社会教育担当職員、市町公民館等職員、各市町の社会教育委員

会 場

石川県庁1104会議室

参加者数

13人

期 日

令和6年8月20日(火) 10:00～16:00

日 程

日 時	内 容	講 師
8月20日(火) 10:00～12:00	社会教育事業の運営と地域づくり	金沢大学 名誉教授 浅野 秀重
13:00～16:00	障害のある人と共に生きる地域づくり	金沢大学 教 授 吉村 優子

(注) 公民館職員専門研修第2日と合同開催（参加人数は上記以外に公民館職員専門研修5人）

事業の評価（成果・課題）

当初の申込者が少数のため、県生涯学習課が社会教育士を中心に再募集した。昨年度の2名より受講者数は増加した。

午前、金沢大学名誉教授の浅野秀重氏から、講義をうかがった。

午後は、初めて「障害者の生涯学習」の内容を取り入れた。障害者の疑似体験など、講義だけでなく体験活動も取り入れられており、アンケート評価は高かった。なお、今年度、県生涯学習課が国の事業である障害者の生涯学習推進を実施している。

受講者からは「公民館や市の行事にも障害者支援の視点を組み込みたい。」「障害者との企画を検討しており、参考になった。」「9月に行う研修会において、ろう者の方が参加を希望されているため、今日の研修の内容を公民館にも共有し事業実施に向けて進めて行きたい。」などの感想が聞かれた。

次年度、本研修は金沢大学社会教育研究振興会の他の研修（社会教育主事等フォローアップ研修）と統合する予定である。また、研修の趣旨にある中央教育審議会答申は年数が経過しているので、文言の改訂を検討する。

(2) 教育事務所管内別生涯学習研修会

趣 旨

教育事務所管内ごとに研修の機会を設け、市町の生涯学習担当者、公民館職員等生涯学習行政関係者の実務能力等の力量を高め、県内の生涯学習の振興に寄与する。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会

共 催

石川県教育委員会、各市町教育委員会

対 象

市町生涯学習担当課職員、公民館職員等

日 程

教 育 事 務 所	日 時	内 容 等	参加者
小 松	令和7年 1月28日(火) 14:30～16:00	趣 旨 地域づくり、人づくり、つながりづくりの中心的役割を担う公民館職員、社会教育・生涯学習担当職員を対象に、平時の公民館活動を有事の際にどう活かすことができるかを学び、日頃の活動を振り返るとともに避難所機能についての学びを深める機会とする。 講義等 「これまでの公民館活動とこれからの公民館活動～有事を見据えた公民館の重要性～」 講 師 金沢大学学長補佐/先端科学・社会共創推進機構教授 篠田隆行 氏 会 場 川北町文化センター	14 人
金 沢	12月17日(火) 14:00～15:30	趣 旨 共生社会実現のため、障害者の生涯を通じた学習活動の充実に向けた取組はとても重要である。本研修において、生涯学習担当職員が障害のある方、合理的配慮への理解を深めることで、障害者の生涯学習支援・推進の後押しを図る。 講義等 「障害のある人の理解、合理的配慮について」 講 師 金沢大学教授 吉村優子 氏 会 場 内灘町役場	25 人
中能登	実施せず	—	—
奥能登	実施せず	—	—
合 計			39 人

事業の評価(成果・課題)

令和2年度から4つの教育事務所管内ごとに、研修実施の有無を含めて企画から運営までを輪番の担当市町に一任している。今年度は、小松、金沢の2教育事務所管内で開催された。

小松はこちらが提示した担当市町順に関わらず、独自に担当を決めているとのことであった。参加者は市町関係者と公民館職員がおおよそ半々であった。アンケート評価は高く、人数制限なしで多くの人に聞いてもらいたかったという声が多数あった。

金沢は市町の生涯学習担当者や公民館主事、福祉関係の参加があった。こちらから内容案として提示した、障害者の生涯学習の推進に関するものであった。

中能登、奥能登については、令和6年元日の能登半島地震の影響のためか、昨年度に続き未実施となった。(中能登はR2より5年間未実施となる。)

輪番により担当となった市町では、生涯学習担当の職員に限られる中、担当する分野が複数にわたることや担当者の異動などにより、本研修会の意義や実施手順などが継承されておらず、企画すること自体が難しい地区もある。

次年度については、本研修の位置づけについて検討する予定である。

(3) 県民映像カレッジ

趣 旨

ビデオ撮影および編集技術の習得・向上を通し、映像に親しむ生涯学習活動の推進を図る。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター

対 象

一般県民

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	定員	参加人数
1	8月23日(金) 13:30～16:00	ビデオ撮影・編集に関する講義、 ビデオ編集実習	金沢学院大学芸術学部 准教授 越田 久文	5 人	2 人

事業の評価(成果・課題)

参加者は少なかったが、各人が映像制作に関する知識・技能をレベルアップすることができた。今後も、より幅広い年代の方に受講していただけるよう内容を工夫したい。

(4) ICTセミナー

趣 旨

視聴覚教育や情報技術の動向について学ぶとともに、市町相互の連携を図る。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター

対 象

各市町社会教育・生涯学習関係職員（公民館・図書館等）、教育機関（団体）職員、高等学校教員等

会 場

第1回 小松市立図書館

第2回・第3回 石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	定員	参加人数
1	8月1日(木) 14:00～15:30	福井県におけるデジタルアーカイブの構築 ～デジタルアーカイブ福井のこれまでとこれから～	福井県文書館 主任 長野 栄俊	15 人	8 人
2	10月24日(木) 13:30～16:30	Googleツール活用基礎講座	Officeアシスタ 代表 山川 広美	10 人	8 人
3	11月7日(木) 10:00～16:00	スマートフォン 動画撮影・編集 の基礎 講座	ラックプロ株式会社 代表取締役社長 福田 敬嗣	5 人	5 人

事業の評価(成果・課題)

第1回は、福井県におけるデジタルアーカイブの知識について学んだ。業務で必要な知識を得ることができた、情報を公開し連携する等の活用例が参考になった等の感想が寄せられ好評であった。

第2回は、有用性の高いGoogleツール活用の講座であり、全体としては概ね好評であった。

第3回は、スマートフォンのアプリを使って動画を撮影し編集する基本操作を学んだ。受講者からは今後活かせる内容で講義も分かりやすかったと好評であった。

今後も受講者ニーズを的確に捉えたテーマを設定して、開催を継続したい。

(5) 令和6年度(第55回)いしかわ映像作品コンテスト

趣 旨

生涯学習の場で実際に役立つ視聴覚教材の自作活動や、地域の映像記録活動を促進し、併せて県民の映像文化への関心と制作技術の向上を図る。

主 催/共 催

石川県視聴覚教育協議会／石川県教育委員会

後 援

石川県小中学校視聴覚教育研究協議会、石川県高等学校視聴覚教育研究会、
石川県社会教育協会、石川県公民館連合会

応募資格

県内に在住もしくは勤務する個人またはグループ

応募期間

令和6年10月1日(火)～令和7年1月23日(木)

応募規定及び賞

- 規定 題材は自由 例・学校（幼稚園等を含む）や公民館等の生涯学習施設で教材として活用できるビデオ教材
- ・学校紹介ビデオ
 - ・一般撮影作品、ほか

賞 石川県教育委員会賞(最優秀賞)、石川県社会教育協会賞(優秀賞)、
石川県公民館連合会賞(優秀賞)、奨励賞を授与する。

審査及び授賞式

審査会 令和7年2月 5日(水) 13:30～16:00

授賞式 令和7年3月 1日(土) 14:00～15:00

審査委員

越田 久文(金沢学院大学准教授)＜審査委員長＞ 本谷 公夫(元北陸放送番組プロデューサー)

山越 善耀(石川県立生涯学習センター館長)

応募作品数

18点

審査結果及び授賞者氏名

内 容	
石川県教育委員会賞(最優秀賞) 「銘菓 昭和九年」 石川県立寺井高等学校 放送部	
石川県社会教育協会賞(優秀賞) 「献血の大切さ」 金沢市立工業高等学校 後期保健委員会	石川県公民館連合会賞(優秀賞) 「Glass Studio cullet」 天野 達也
奨励賞 「YNKニュース～金沢の未来をつなぐ～」 「探訪・赤瀬町と那殿観音」 金沢市立港中学校 放送部2年生 小松市公民館連合会 「九谷焼の魅力ってナニ?!」 小松市立国府小学校 D	

事業の評価(成果・課題)

令和6年度は、10月1日から翌年1月23日までに、小学生から短大生・一般までの幅広い年齢層から、18点の応募があった。

今後も、早期に各学校・視聴覚教育研究団体へ働きかけるなど、コンクールの実施・作品募集の周知を図り、「県民映像カレッジ」とも連携して、より多くの県民からご応募いただけるようにしたい。

(6) 視聴覚いしかわ(会報)

石川県視聴覚教育協議会の事業として、会報第21号を発行。

発行日・号数	巻頭言	巻頭言執筆者
3月21日 第21号	「福井県におけるデジタルアーカイブの構築 ～デジタルアーカイブ福井のこれまでとこれから～」	福井県文書館 主任（認証アーキビスト） 長野 栄俊

Ⅱ 生涯学習センター能登分室

1 講座事業

(1) 能登文化講座

趣 旨

地域住民の多様な学習ニーズに応え、著名な講師による専門性の高い講話と、人生体験について振り返る場を提供し、元気を与える。

対 象

一般

会 場

石川県立生涯学習センター 石川県本多の森庁舎 第1会議室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	7月6日(土) 13:30～15:00	紫式部と源氏物語、その魅力	東京大学大学院人文社会系研究科 教授 高木 和子	180人	*147人

*他に期間限定配信希望者48人

事業の評価(成果・課題)

令和6年元日の能登半島地震の影響により、のと里山空港ターミナルビルが災害対応の中核を担い、能登分室で会場を確保できなかったため、金沢の本校で開催することとなった。チラシを作成し、電子申請による参加者を募った。その結果、会場参加申込が174人、期間限定配信申込が48人(延べ156回の視聴記録)であった。

講師の高木和子教授は、平安文学、特に源氏物語が専門で、折しも大河ドラマ「光る君へ」が放送中であり、幅広い年齢層の方々の受講があった。受講者は、講演の前半は紫式部の生涯について、後半は源氏物語の読み方について、講師の楽しい語り口に魅せられて平安の雅に触れるひとときとなった。

会場受講者の居住地内訳は、金沢市が67%、能登地区合計は18%だった。開催地が金沢だったことの影響が大きい。配信希望者の居住地内訳は、金沢市が60%、能登地区合計は8%だった。満足度(会場+配信)の4段階評価では、上位2段階が98%で、満足度が高かった。

次年度も、地域住民の学習ニーズに応え、魅力ある講座の継続および能登地区での本講座の開催を目指していきたい。

(2) 能登の歴史探訪講座

趣 旨

能登の歴史を学び、ゆかりの史跡や文化財に思いを寄せて、ふるさとへの理解を深める。

対 象

一般

会 場

のと里山空港ターミナルビル 4階会議室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	10月9日(水) 13:30～15:00	能登半島地震と被災した文化財	能登文化財保護連絡協議会 会長 金沢学院大学 名誉教授 東四柳 史明	40人	21人

事業の評価(成果・課題)

能登半島地震の影響により、のと里山空港ターミナルビル4階の会議室を借用しての開催となった。奥能登は、地震と水害で二重に被災し、生活とインフラの復旧が喫緊の課題となっている。こうした状況下においても、歴史を語る文化財の重要性は決して無視できない。

本講座では、能登文化財保護連絡協議会会長で、被災した文化財を救うために尽力している東四柳史明名誉教授を講師に招き、それらの文化財が置かれた厳しい現状を、文化財保護行政の話題を交えて話していただいた。受講者の多くは奥能登在住でもあり、興味深く聴き入っていた。

受講者の居住地内訳は、輪島市・鳳珠郡が62%、能登地区合計は77%だった。満足度の4段階評価では、上位2段階が95%で、満足度が高かった。

リピーターの多い人気講座であり、現地探訪講座の可否を含めて、次年度の発展的継続実施へと繋げていきたい。

(3) オーケストラ・アンサンブル金沢による音楽鑑賞教室

趣 旨

文部科学省による令和6年度後期分「被災地の子供への学習・体験活動の提供支援事業」の一環として、能登半島地震の被災により、体験活動の機会が不十分となった児童生徒に対して、平時とは異なる校外学習の場や文化的体験活動の機会を提供し、児童生徒の心のケアおよび学習意欲の向上に寄与する。

対 象

輪島市・珠洲市・能登町・穴水町の小中学生

会 場

輪島市・珠洲市・能登町・穴水町の学校または社会教育施設

日 程

番号	日 時	演 題	会 場 / 内 容	参加人数
1	1月20日(月) 13:45～14:30	オーケストラ・アンサンブル金沢 による音楽鑑賞教室in珠洲	珠洲市立上戸小学校 2階音楽室 弦楽五重奏	小学生 21人
2	1月28日(火) 14:35～15:20	オーケストラ・アンサンブル金沢 による音楽鑑賞教室in輪島	輪島市立6小学校合同仮設校舎 1階職員室② / 弦楽四重奏	小学生 67人
3	3月2日(日) 13:00～13:45	オーケストラ・アンサンブル金沢 による音楽鑑賞教室in能登町	石川県柳田星の観察館「満天星」 弦楽四重奏	小中学生 16人

事業の評価(成果・課題)

開催地の教育委員会と連携し、学校や社会教育施設の協力を得て運営した。参加した児童生徒は、一流の演奏を間近で聴ける機会を十分に満喫した(83%が「とても満足できた」とアンケートに回答)。能登町教室では、プラネタリウム内で星座の投影を鑑賞しながら聴き入った。輪島市教室では、児童が12月に音楽発表会で披露した曲も演奏され、児童の今後の学習意欲向上に大いに寄与することとなった。

(4) 石川の資源を生かした工作教室

趣 旨

「(3)オーケストラ・アンサンブル金沢による音楽鑑賞教室」と同じ

対 象

輪島市・珠洲市・能登町・穴水町の小学校3～6年生

会 場

のと里山空港ターミナルビル 4階会議室

日 程

番号	日 時	内 容 (表題)	講 師	定員	参加人数
1	1月11日(土) 10:00～12:00	さくら貝で飾り絵をつくろう	さくら貝小貝クラフト華 美 智紀・濱口 初美	20人	小3～小6 3人
2	1月26日(日) 10:00～12:00	さくら貝で飾り絵をつくろう	さくら貝小貝クラフト華 美 智紀・濱口 初美	20人	小3～小6 8人
3	2月8日(土) 10:00～12:00	県産木でリトルチェアをつくろう	石川県森林組合連合会 県産材利活用推進室 泉 大作・綿貫 佳代子	20人	大雪で 中止
4	2月8日(土) 13:30～15:30	県産木でリトルチェアをつくろう	石川県森林組合連合会 県産材利活用推進室 泉 大作・綿貫 佳代子	20人	大雪で 中止
5	2月15日(土) 10:00～12:00	県産木でリトルチェアをつくろう	石川県森林組合連合会 県産材利活用推進室 泉 大作・田藏 俊昭	20人	小3～小6 5人
6	2月15日(土) 13:30～15:30	県産木でリトルチェアをつくろう	石川県森林組合連合会 県産材利活用推進室 泉 大作・田藏 俊昭	20人	小3～小6 5人

事業の評価(成果・課題)

地域に貢献する社会人の方々の協力を得て運営した。「さくら貝」では、参加者が各々個性豊かな作品を完成させ、能登には美しい資源があるという認識を、保護者と共に深めることができた。「リトルチェア」は、風雪の影響で一日のみの開催となったが、県産の杉に直接触れながら、木材の知識も身につけることができた。参加した児童全員が「とても楽しかった」とアンケートに回答し、意義深い行事となった。

(5)マジック体験教室

趣 旨

「(3)オーケストラ・アンサンブル金沢による音楽鑑賞教室」と同じ

対 象

輪島市・珠洲市・能登町・穴水町の小学生

会 場

のと里山空港ターミナルビル 4階会議室

日 程

番号	日 時	内 容	講 師	定員	参加人数
1	2月22日(土) 13:30～15:30	マジシャンルパンのサイエンスマジックショー マジック体験教室	マジシャンルパン (高田 隆二 氏)	20人	小学生 13人

事業の評価(成果・課題)

能登半島地震発災以降、能登の小学校等でサイエンスマジックショーを幾度も行ってきた講師は、小学生でも容易に取り組める自作のマジック教材を多数準備・配付し、児童の関心・意欲を巧みに引き出していた。付き添った保護者の表情も朗らかで、参加した児童全員がアンケートに「とても満足できた」と回答した。当日は大雪で、数名が参加できなかったことは残念だった。この体験教室は、エンターテインメントの要素を楽しみ、好奇心の高揚が図られた、非常に有意義な行事だった。

2 他の機関・団体との共催講座

(1) サンドブラスト体験教室

趣 旨

のと里山空港の利用促進イベントで、マスコットキャラクターなどのイベント限定転写シールをガラスコップに貼り、砂を吹きつけて図柄を写し取るサンドブラスト加工を行って、ものづくりの喜びを実感し、併せて空港に親しむ一助とする。

主 催

のと里山空港賑わい創出実行委員会

共 催

石川県立生涯学習センター能登分室

対 象・定 員

1日150名（小学生以下優先）

会 場

のと里山空港ターミナルビル内

日 程

番号	開 催 日	内 容 (題 材)	参加人数	備 考
1	7月 7日(日)	開港記念限定デザイン（開港記念イベント）	103人	講義室A・作業室で実施
2	10月13日(日)	空の日限定デザイン（空の日フェスタ）	—	豪雨災害の影響で中止
3	12月22日(日)	Xmas限定デザイン（クリスマスイベント）	117人	3階デッキ前廊下で実施

※実施日は、開港記念、空の日、クリスマスイベントの開催日

時間帯は、9：30～15：00

事業の評価（成果・課題）

能登半島地震の影響で、例年毎月第二日曜日に行っていた「季節のデザイン」シールを用いた体験教室は中止となった。3回の空港イベント（開港記念日、空の日フェスタ、クリスマス）の開催時のみ、「イベント限定デザイン」シールを用いた体験教室を企画した。7月と12月の空港イベントは例年以上に盛会で、体験教室の参加者も各回100人を超えた。10月の空港イベントは、9月下旬の豪雨災害の影響で中止となり、体験教室も中止になってしまった。

体験教室には、地元だけでなく県内各地からの参加者も多く、能登の復旧・復興に向けて明るい兆しを実感できた。この体験教室が、のと里山空港の賑わい創出と活性化に向けて、さらに貢献できるように努めたい。

3 他の機関・団体との共催事業

(1) のと里山空港書道展

趣 旨

能登地区の小学生が、のと里山空港に関する題材から書道に勤しみ、作品の提出・展示・表彰により、今後の学習意欲向上に資するとともに、のと里山空港の賑わい創出への一助とし、能登半島地震からの復興に係る意識高揚に寄与する。

主 催

のと里山空港賑わい創出実行委員会

共 催

石川県立生涯学習センター能登分室

対 象・定 員

宝達志水町以北の能登地区9市町50小学校に在籍する児童

会 場

のと里山空港ターミナルビル内

日 程

実 施 日 程	内 容	人 数	備 考
6年11月下旬～ 7年 1月14日(火)	書道作品の募集・提出	応募 33校 227名	各小学校を通して募集・提出
2月 1日(土)～ 13日(木)	入選作品の展示	展示 30校 132名	展示会場：2階出発ロビー
2月 9日(日)	優秀作品の表彰式	表彰 13校 36名	表彰式会場：4階会議室

事業の評価(成果・課題)

能登半島地震の影響で、昨年度は開催できなかった。応募のあった小学校からは、熱心に「書道」に取り組んでいる様子が伺えた。表彰式には13校31名が出席予定のところ、降雪等の影響で24名の出席となった。40名を超える保護者等も出席し、朗らかな表情が会場の随所で見られた。復興への明るい兆しや児童の学習意欲向上を実感できる行事だった。能登およびのと里山空港の活性化に、今後も尽力していきたい。

令和6年能登半島地震後の能登分室所管会議室の臨時使用状況

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、生涯学習センター能登分室が入居する奥能登行政センターは、建物・設備等に大きな被害を被ったため、能登分室は1月4日から臨時休館の措置をとった。

能登分室所管の会議室については、被災当初、建物自体が電気や水道、トイレなどが壊れて使用可能な状態であったことから、非常時の臨時的措置として、中央省庁や県内外の自治体職員など、支援・復旧作業に従事する方々の宿泊場所として使用されていたが、令和6年度からは、行政財産の使用許可等の手続きを経て、被災地の復旧・復興に尽力する関係機関・団体が使用している。

部屋名	R6年度の使用状況（R7年3月現在）
講義室A	奥能登土木総合事務所（4/3～8/25）
	----- (公社)大学コンソーシアム石川（8/26～）
講義室B	奥能登土木総合事務所（4/3～）
調理実習室	北陸電力送配電㈱（6/3～）
運動指導室	北陸電力送配電㈱（6/3～）
作業室	※奥能登行政センター入居機関が随時使用
多目的室	(一社)能登官民連携復興センター（10/2～）

令和 6 年度
事業報告書

令和 7 年 5 月 22 日発行

編集・発行 石川県立生涯学習センター

〒920-0935

金沢市石引 4 丁目 1 7 番 1 号

石川県本多の森庁舎

TEL 076(223)9571 (代表)

FAX 076(223)9585



PC・スマートフォン用

URL <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/shakyo-c/>

